

出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事

設計図

(令和7年2月)

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
1	改修工事仕様書 1	—	26	既設 平面・断面詳細図(2) 器具庫(2)	1/30	51	改修後 ギャラリー壁鉄骨下地詳細図	1/100			
2	改修工事仕様書 2	—	27	改修後 平面・断面詳細図(2) 器具庫(2)	1/30	52	改修後ギャラリー壁鉄骨下地断面詳細図	1/30			
3	改修工事仕様書 3	—	28	既設 断面詳細図(3) ステージ	1/30	53	改修後 バasketゴール補強図(参考)	1/50 1/30			
4	改修工事仕様書 4	—	29	改修後 断面詳細図(3) ステージ	1/30	54	既設 1階平面図 レベル調査	1/100			
5	改修工事仕様書 5	—	30	既設 断面詳細図(4) 玄関	1/30	55	既設 2階平面図 レベル・ひび割れ調査	1/100			
6	改修工事仕様書 6	—	31	改修後 断面詳細図(4) 玄関	1/30	56	既設 外部調査 北・西立面図	1/100			
7	改修工事仕様書 7	—	32	既設 展開図(1) アリーナ南・東面	1/100	57	既設 外部調査 南・東立面図	1/100			
8	改修工事仕様書 8	—	33	改修後 展開図(1) アリーナ南・東面	1/100	58	既設 渡り廊下 平面図 立面図	1/100 1/50			
9	改修工事仕様書 9	—	34	既設 展開図(2) アリーナ北・西面	1/100	59	改修後 渡り廊下 平面図 立面図	1/100 1/50			
10	配置図・附近見取図・工事概要	1/600	35	改修後 展開図(2) アリーナ北・西面	1/100	60	既設・新設 倉庫 平面図・立面図・床伏図・基礎伏図	1/100 1/50 1/20			
11	既設・改修後 外部仕上表 雨水排水管改修詳細図	1/300 1/50	36	既設 展開図(3) ステージ 器具庫(1)(2)	1/100	61	仮設配置図 仮囲い詳細図	1/100 1/600			
12	既設・改修後 内部仕上表	—	37	改修後 展開図(3) ステージ 器具庫(1)(2)	1/50 1/30 1/100						
13	既設 1階平面図 建具配置図	1/100	38	既設 展開図(4) 玄関	1/50						
14	改修後 1階平面図 建具配置図	1/100	39	改修後 展開図(4) 玄関・備品庫	1/50 1/30						
15	既設 2階平面図 建具配置図	1/100	40	既設 1階天井伏図	1/100						
16	改修後 2階平面図 建具配置図	1/100	41	改修後 1階天井伏図	1/100						
17	既設・改修後 ステージ下平面図・詳細図	1/100 1/50	42	既設 2階天井伏図	1/100						
18	既設 屋根伏図	1/100	43	改修後 2階天井伏図	1/100						
19	改修後 屋根伏図 部分詳細図	1/100 1/50	44	既設・改修後 建具表	1/100						
20	既設 立面図(1) 西・北面	1/100	45	既設 軸組図(1)	1/100						
21	改修後 立面図(1) 西・北面	1/100	46	既設 軸組図(2)	1/100						
22	既設 立面図(2) 東・南面	1/100	47	既設 軸組図(3)	1/100						
23	改修後 立面図(2) 東・南面	1/100	48	既設 軸組図(4)	1/100						
24	既設 断面詳細図(1) アリーナ	1/30	49	既設 間柱断面詳細図	1/30						
25	改修後 断面詳細図(1) アリーナ	1/30	50	改修後 間柱断面詳細図	1/30						

建築改修工事仕様書			章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																																																																																																													
I 工 事 概 要 1 工 事 場 所 出雲市斐川町三分市 地内 2 地 域 地 区 都市計画区域（☐内 ☐外） 用途地域等（指定無し） 3 敷 地 面 積 22.082 m² 4 建 物 用 途 小学校 5 棟 別 概 要<table><tr><th>N.º</th><th>建 物 名 称</th><th>建築種別</th><th>構 造</th><th>階数</th><th>消防法 の区分</th><th>建築面積（m²）</th><th>延面積（m²）</th></tr><tr><td>1</td><td>屋内運動場棟</td><td>改 修</td><td>RC・S造</td><td>1</td><td></td><td>696.80</td><td>608.80</td></tr><tr><td>2</td><td>渡り廊下</td><td>改 修</td><td>S造</td><td>1</td><td></td><td>39.11</td><td>39.11</td></tr><tr><td>3</td><td>倉庫</td><td>新 築</td><td>S造</td><td>1</td><td></td><td>9.80</td><td>9.80</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="6">合 計</td><td>745.71</td><td>745.71</td></tr></table> II 工 事 仕 様 1 共 通 事 項 （1）図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版〔令和5年3月改定〕」（以下「改修標準仕様書」という）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版〔令和5年3月改定〕」（以下「標準仕様書」という）による。 （2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 2 特 記 事 項 （1）章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 （2）特記事項は○印を適用する。 ○印の無い場合は、＊印のあるものを適用する。 ○印と⊕印のある場合はともに適用する。 （3）特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目・図または表を示す。特記事項に記載の()表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。 <tr><td rowspan="2">章</td><td>項 目</td><td colspan="2">特 記 事 項</td><td rowspan="2">章</td><td>項 目</td><td colspan="2">特 記 事 項</td><td rowspan="2">章</td><td>項 目</td><td colspan="2">特 記 事 項</td></tr> <tr><td>① 適用基準等</td><td colspan="2">＊ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集</td><td>② 材料の品質等</td><td colspan="2">本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。</td></tr> <tr><td rowspan="2">① 一般共通事項</td><td>① 適用基準等</td><td colspan="2">＊ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集</td><td>② 材料の品質等</td><td colspan="2">本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。</td></tr> <tr><td>② 材料の品質等</td><td colspan="2">本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。</td></tr> <tr><td colspan="3">図 面 番 号</td><td>工 事 名</td><td colspan="2">図 面 種 別</td><td>縮 尺</td><td>設計年月</td><td colspan="2">出雲市教育委員会 教育施設課</td><td colspan="2">（有）福田建築設計事務所（島根県知事）10089 一級建築士（大臣）190284 福田 実 島根県出雲市斐川町富村1488番地3</td></tr> <tr><td colspan="3">A-1</td><td>出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事</td><td colspan="2">仕様書 1</td><td>1：100</td><td>R7.2</td><td colspan="2">設計者</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td colspan="3">建築</td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>			N.º	建 物 名 称	建築種別	構 造	階数	消防法 の区分	建築面積（m ² ）	延面積（m ² ）	1	屋内運動場棟	改 修	RC・S造	1		696.80	608.80	2	渡り廊下	改 修	S造	1		39.11	39.11	3	倉庫	新 築	S造	1		9.80	9.80	4								5								6								7								合 計						745.71	745.71	章	項 目	特 記 事 項		章	項 目	特 記 事 項		章	項 目	特 記 事 項		① 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集		② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。		① 一般共通事項	① 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集		② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。		② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。		図 面 番 号			工 事 名	図 面 種 別		縮 尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（島根県知事）10089 一級建築士（大臣）190284 福田 実 島根県出雲市斐川町富村1488番地3		A-1			出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	仕様書 1		1：100	R7.2	設計者				建築											
			N.º	建 物 名 称	建築種別	構 造	階数	消防法 の区分	建築面積（m ² ）	延面積（m ² ）																																																																																																																																
1	屋内運動場棟	改 修	RC・S造	1		696.80	608.80																																																																																																																																			
2	渡り廊下	改 修	S造	1		39.11	39.11																																																																																																																																			
3	倉庫	新 築	S造	1		9.80	9.80																																																																																																																																			
4																																																																																																																																										
5																																																																																																																																										
6																																																																																																																																										
7																																																																																																																																										
合 計						745.71	745.71																																																																																																																																			
章	項 目	特 記 事 項		章	項 目	特 記 事 項		章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																
	① 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集			② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。																																																																																																																																				
① 一般共通事項	① 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集		② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。																																																																																																																																					
	② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）～6）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～6）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6）材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放放量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。																																																																																																																																								
図 面 番 号			工 事 名	図 面 種 別		縮 尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（島根県知事）10089 一級建築士（大臣）190284 福田 実 島根県出雲市斐川町富村1488番地3																																																																																																																																
A-1			出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	仕様書 1		1：100	R7.2	設計者																																																																																																																																		
建築																																																																																																																																										

③ 環境への配慮

④ 特別な材料の工法及び製品

⑤ 電気保安技術者 [1.3.3]

⑥ 施工条件 [1.3.5]

⑦ 発生材の処理等 [1.3.12]

⑧ 交通安全管理 [1.3.9]

⑨ 施工数量調査 [1.5.2]

10 調査のための破壊部分の補修方法 [1.6.3]

⑪ 技能士の適用 [1.7.2]

⑫ 化学物質の濃度測定 [1.7.9]

⑬ 工事写真

⑭ 完成図

⑮ 保全に関する資料 [1.9.3]

⑯ 関連他工事

⑰ 特定元方事業者の指名

⑱ 施工図及び施工計画書 [1.2.2、3]

＊ 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。

下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。
測定化学物質名：
○ホルムアルデヒド ○トルエン ○キシレン
○エチルベンゼン ○スチレン ○パラジクロロベンゼン
測定時期：
・ 施工前 ○ 施工後
測定方法：
・ 営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領
○ 学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領
・ 住宅性能表示制度に基づく測定方法
（ただし書きによる測定方法を含む）
測定箇所： 4 箇所
測定対象室： フリーナ

下記のものを提出する。
仕様は、島根県建築工事写真真取扱要領による。

区 分	分 類	サイズ（mm）	提出部数
工 事 中 写 真 （着工前含）	＊ カラー	＊ 80×120 程度	2 部
完成写真	＊ カラー	外部全景 ＊ 120×170 程度 その他 ＊ 80×120 程度	2 部
電子データ （CD-R等）	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び 完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部

（注）フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。

下記のものを、竣工後15日以内に提出する。
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様	提出部数
＊ 竣工図 製本サイズ（⊕A3縮小版 ○ 原図サイズ）白焼 表装（＊レザック表紙（ラミネート仕上げ））	縮小 3 部 原図 1 部
＊ 電子データ（PDFデータ、CADデータ、施工図）（CD-R等）	1 部

製本の取りまとめについては監督職員の指示による。
設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、出雲市にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。

書 類 名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書 （建築物等の利用に関する説明書作成要領による） 機器取扱い説明書 機器性能試験成績書 官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの	＊ 2 部 ・ 部
建築物等の利用に関する説明書の電子データ（CD-R等）	＊ 1 部

○ 出東小学校屋内運動場大規模改修電気設備工事
・
・

下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。
○ 本工事の受注者
・ 関連他工事の受注者（ ）

提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における
使用権は発注者に委譲するものとする。

⑲ 事前調査等

⑳ 撤去部分

㉑ 耐荷重及び耐外力

22 施工計画調査

受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に調査し、発注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の揭示及び所管労働基準監督署長並びに都道府県知事等への報告を行うこと。
（大気汚染防止法第18条の15、石棉障害予防規則第3条及び第4条の2）

・ 分析調査（定性分析）を行い、結果を報告する。
・ 試料採取箇所（ ） 試料数（ ）
・ 図示による

○ 調査済み（ 外壁リッ吹付：該当無し ）

○ 図示による ・

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 V0（m/s）
○ 3.0
・ 3.2（旧益田市、旧匹見町、旧日原町、隠岐郡）
・ 3.4（旧津和野町、旧柿木村、旧六日市町）
地表面粗土区分 ・ I ・ II ○ III ・ IV
積雪荷重 告示第1455号、鳥根県建築基準法施行細則による

分析調査
・ PCBを含む可能性のある機器類
現場にてサンプルを採取し、含有の有無を分析する。
採取場所（ ）
採取機器（ ）
採取箇所数（ ）

・ 廃油の種別
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。
採取場所（ ）
採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所

・ 廃酸又は廃アルカリの種別
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。
採取場所（ ）
採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所

・ ダイオキシン類
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。
採取場所（ ）
採取箇所数（ ）

・ 塗膜塗料に含まれる有害物質
現場にてサンプルを採取し、分析を行う。
有害物質の種類 ・ PCB ・ 鉛 ・ クロム
採取場所（ ）
採取箇所数（ ）

② 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

② 足場等 [2.2.1]

騒音・粉じん等の対策
・ 防音パネル ○ 防音シート ○ メッシュシート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
＊ 工事に必要な範囲 ・

「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」による。

外部足場
○ 範囲（ 外周 ）
・ 図示による ・ 設置しない
外部足場の種類
○ 外部足場（手すり先行方式）

○ 脚立足場 ○ 脚立棚足場

内部足場
○ 範囲（ 内壁 ）
・ 図示による ・ 設置しない
内部足場の種類
（○ 脚立、足場板等 ○ 枠組足場 ・ 棚足場
○ 移動式足場 ・ 図示による ）

材料、撤去材等の運搬方法（表2.2.1）
・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種

既存部分の養生方法
○ ビニルシート ・ 合板 ・ 図示による（廊下仮設足場搬入路）
既存家具等の養生方法
・ ビニルシート等による ・ 図示による
既存ブラインド、カーテン等の養生
養生方法 ・ 取り外し ・ 図示による
保管場所：
備品等の移動 ・ 図示による

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																									
	4	仮設間仕切り [2.3.2]	種別	・ A種	・ B種	・ C種	(表2.3.1)	5	アスファルト防水 [3.3.2～5]	屋根保護防水 防水層の種類	<table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護工法</th></tr><tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td><td></td><td></td><td>・*ポリエレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットン70g/m2程度</td><td>・乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え ・*JISR1250</td></tr><tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ・B-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・P2AI</td><td>・AI-1 ・AI-2 ・AI-3</td><td></td><td>(材質) JISA9521に に基づく 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキ層付き) *25 *50 ・</td><td>・*フラットン70g/m2程度</td><td></td></tr><tr><td>・P1BI</td><td>・BI-1 ・BI-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護工法	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			・*ポリエレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットン70g/m2程度	・乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え ・*JISR1250	・P1B	・B-1 ・B-2					・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(材質) JISA9521に に基づく 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキ層付き) *25 *50 ・	・*フラットン70g/m2程度		・P1BI	・BI-1 ・BI-2						設置する	面 積： m程度	仕 上 げ： 備 品： 設 備：
	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護工法																																							
	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			・*ポリエレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットン70g/m2程度	・乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え ・*JISR1250																																							
	・P1B	・B-1 ・B-2																																											
	・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(材質) JISA9521に に基づく 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキ層付き) *25 *50 ・	・*フラットン70g/m2程度																																								
・P1BI	・BI-1 ・BI-2																																												
⑥	現場事務所		設置できる	(○)敷地内	・敷地外(設置可能場所：)																																								
⑦	工事用電力、水、その他		構内既存の施設	工事用水	(○)利用できる(有償)	・利用できない																																							
⑧	仮囲い及び出入口		設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。																																										
9	養生シート		設置範囲	・図示の位置	・外部足場全面																																								
⑩	洗 車 場		養生シートの種類	・養生シート	・防災Ⅰ類	・防災Ⅱ類																																							
11	木製安全施設製品 (県産木材製品)		* 工事用看板	(表示板1、400mm×500mm用)	2台																																								
			* 工事用バリケード		5台																																								
			・工事用標示板	(表示板1、400mm×1,100mm用)	1台																																								
			(注) 取り扱い平成25年3月8日付第945号による																																										
③	①	降雨等に対する養生方法 [3.1.3]	* 改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。																																										
	②	既存防水の処理 [3.1.4] [3.2.3、4、6]	既存保護層の撤去	・行う(範囲 * 図示による)	・行わない																																								
			既存防水層の撤去	・行う(範囲 * 図示による)	・行わない																																								
			既存露出防水層表面の仕上り塗装の除去	・行う(・M4AS・M4AS1・M4C)																																									
③	ルーフトレンドリ回りの処理 [3.2.5]		改修用ドレン	(○)設ける	・設けない																																								
④	既存下地の処置 [3.2.6]		既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等	* 図示による																																									
			POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置																																										
			* 改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による																																										
			設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すりや丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理																																										
			* 図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する																																										
図 面 番 号	工 事 名						図 面 種 別	縮 尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課				⑥ 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]																															
A-2	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事						仕様書 2	1:100	R7.2																																				
建築																																													

設計者	出雲市教育委員会 教育施設課
-----	----------------

⑥ 合成高分子系ルーフィングシート防水
[3.5.2～4]
[表3.5.1～3]

脱気装置の種類
* 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量
* 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
* アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁断熱工法の防水湿シート
・設置する
・設置しない

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 の防水	備考		
・POS ・S4S	・S-F1					脱気装置 ・設ける		
						・S-F2	・適用する	改修用ドレン ・設ける
						・S-M1	・適用する	・設けない
						・S-M2	・適用する	
・S3S	・S-F1					脱気装置 ・設ける		
						・S-F2	・適用する	・設けない
⑦M3S	⑦S-M2	玄関屋根 平場				・適用する	改修用ドレン ・設ける	
						⑦S-F2	玄関屋根 立上	・適用する

工法	種別	断熱材					
		(種類) * 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) * 25 - 50					
		施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 の防水	備考	
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1					脱気装置 ・設ける	
						・S1-F2	・適用する
	・S1-M1					・適用する	・設けない
						・S1-M2	・適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
* 非歩行仕様
* 軽歩行仕様
S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置
* 設置しない
* 設置する
S1-M2の絶縁用シートの材質
* 発泡ポリエチレンシート
S-M2及びS1-M2の立上り部の工法
* 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ * 1.5mm)
* 機械的固定工法

屋内防水
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護
・S-C1		平場のモルタル塗り		モルタルの塗厚
		塗厚	工法	
			・床塗り ・下地も床塗り	* 7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
* 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 * R種
厚さ (mm以上)
・
固定金具の材質及び寸法形状
* 防錆処理した鋼板、ステン鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
・

A2 100% A2-A3 71%縮小

[illegible]

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																		
4 4 外壁改修工事（仕上塗材仕上外壁）	① 既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地調整 [4. 5. 4] ② 下地調整材 [4. 5. 2] ③ 仕上塗材仕上げ [4. 1. 5] [4. 5. 2] [表4. 5. 1]	<table><tr><th>工法</th><th>処理範囲</th><th>下地面の補修</th></tr><tr><td>・サンダー工法 ・高圧水洗工法 吐出圧力 ③ 30MPa～50MPa ・50MPa～100MPa ・100MPa以上</td><td>* 既存仕上面全体 ・ 図示による</td><td>4-2外壁改修 工事（パレット 打放し仕上外壁）</td></tr><tr><td>・塗膜はく離剤工法 ・水洗い工法</td><td>* 既存仕上面全体 ・ 図示による</td><td>4-3外壁改修 工事（パレット 仕上げ外壁）</td></tr><tr><td></td><td>* サンダー工法、高圧水洗工法、 塗膜はく離剤工法の処理範囲 以外の既存仕上面全面 ・ 図示</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">石綿含有仕上塗材は、9章環境配慮改修工事による</td></tr></table> <table><tr><td colspan="5">仕上塗材の種類</td></tr><tr><th>種 類</th><th>呼び名</th><th>仕上げの形状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="10">③ 薄付け 仕上塗材</td><td>・外装薄塗材 S i</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td><td>・吹付け ・ローラー 塗り</td><td></td></tr><tr><td>③ 外装薄塗材 E</td><td>・砂壁状 ・着色骨材 砂壁状</td><td>・吹付け ③ ローラー</td><td>軒天</td></tr><tr><td>・可とう形 外装薄塗材 E</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td><td>・吹付け ・ローラー 塗り</td><td></td></tr><tr><td>・防水形 外装薄塗材 E</td><td>・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td><td>・吹付け ・ローラー 塗り</td><td></td></tr><tr><td>・外装薄塗材 S</td><td>・砂壁状</td><td>・吹付け</td><td></td></tr><tr><td>・内装薄塗材 W</td><td>・京壁状</td><td>・吹付け</td><td></td></tr><tr><td>・厚付け 仕上塗材</td><td>・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C</td><td>・吹放し ・凸部処理 ・ひき 起こし</td><td>・吹付け ・こて塗り</td><td></td></tr><tr><td>・外装厚塗材 E</td><td>・吹放し ・凸部処理</td><td>・吹付け</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="10">③ 複層 仕上塗材</td><td>・複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・可とう形複層 塗材 C E ・防水形複層 塗材 C E ③ 防水形複層 塗材 E ・防水形複層 塗材 R E</td><td>③ ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様</td><td>・吹付け ③ ローラー 塗り</td><td>耐候形（ 種） 樹脂 ・アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン 系 ③ アクリル ゴム系 ・ふっ素系 溶媒 ③ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ③ つやあり ・つやなし ・メタリック</td><td></td></tr><tr><td>・軽量骨材 仕上塗材</td><td>・吹付用軽量 塗材 ・こて塗り用 軽量塗材</td><td>・砂壁状 ・平たん状</td><td>・吹付け ・こて塗り</td><td></td></tr><tr><td>・可とう形 改修用仕 上げ塗材</td><td>・可とう形改修 塗材 E ・可とう形改修 塗材 R E ・可とう形改修 塗材 C E</td><td>・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td><td>・ローラー 塗り ・吹付け</td><td>耐候形（ 種）</td></tr></table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法 ・高圧水洗工法 吐出圧力 ③ 30MPa～50MPa ・50MPa～100MPa ・100MPa以上	* 既存仕上面全体 ・ 図示による	4-2外壁改修 工事（パレット 打放し仕上外壁）	・塗膜はく離剤工法 ・水洗い工法	* 既存仕上面全体 ・ 図示による	4-3外壁改修 工事（パレット 仕上げ外壁）		* サンダー工法、高圧水洗工法、 塗膜はく離剤工法の処理範囲 以外の既存仕上面全面 ・ 図示		石綿含有仕上塗材は、9章環境配慮改修工事による			仕上塗材の種類					種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考	③ 薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り		③ 外装薄塗材 E	・砂壁状 ・着色骨材 砂壁状	・吹付け ③ ローラー	軒天	・可とう形 外装薄塗材 E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り		・防水形 外装薄塗材 E	・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り		・外装薄塗材 S	・砂壁状	・吹付け		・内装薄塗材 W	・京壁状	・吹付け		・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C	・吹放し ・凸部処理 ・ひき 起こし	・吹付け ・こて塗り		・外装厚塗材 E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け			③ 複層 仕上塗材	・複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・可とう形複層 塗材 C E ・防水形複層 塗材 C E ③ 防水形複層 塗材 E ・防水形複層 塗材 R E	③ ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様	・吹付け ③ ローラー 塗り	耐候形（ 種） 樹脂 ・アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン 系 ③ アクリル ゴム系 ・ふっ素系 溶媒 ③ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ③ つやあり ・つやなし ・メタリック		・軽量骨材 仕上塗材	・吹付用軽量 塗材 ・こて塗り用 軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り		・可とう形 改修用仕 上げ塗材	・可とう形改修 塗材 E ・可とう形改修 塗材 R E ・可とう形改修 塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・ローラー 塗り ・吹付け	耐候形（ 種）	⑤ ① 改修工法 [5. 1. 3] 2 防火戸 [5. 1. 4] 3 見本の製作等 [5. 1. 5] 4 防犯建物部品 [5. 1. 7] ⑤ アルミニウム製建具 [5. 2. 2～5] [表5. 2. 2] ⑥ 網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3] 7 樹脂製建具 [5. 2. 2] [5. 3. 2～5]	<table><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>③ アルミ製建具</td><td>・</td><td>③</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>③ 鋼製建具</td><td>③ 外部</td><td>③</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・</td><td>・内部</td><td>・</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>* 図示による・</td></tr><tr><td>・スチール製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>* 図示による・</td></tr></table> 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ・ 図示による ・ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 * 図示による ・ ・ 適用する 指定箇所（ * 図示による ・ ） 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との運動 * 運動させる 適用箇所（・ 図示による ・ ） ・ 運動させない 建具見本の製作 ・ 行う ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う ・ 行わない ・ 適用する 適用箇所（ * 図示による ・ ） 性能値等 ③ 耐風圧性の等級（S-5）、気密性の等級（A-3）、水密性の等級（W-4） * 改修標準仕様書表5. 2. 1による種別 外部に面する建具の種別 ・ A種（・ すべて・ 図示による・ ） ③ B種（③ すべて・ 図示による・ ） ・ C種（・ すべて・ 図示による・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） （・ 図示による・ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （・ 図示による・ ） ステンレス鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 * 図示による ・ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 * 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 * 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 結露水の処理方法 * 図示による ・ 取付工法 水切り板、ぜん板 * 図示による ・ 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する <table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>③ 防虫網</td><td>* 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製</td><td>* 0. 25mm以上</td><td>* 16～18メッシュ</td></tr><tr><td>・ 防鳥網</td><td>ステンレス（SUS304）線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table> 性能値等 ・ 耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ） * 改修標準仕様書表5. 2. 1による種別 外部に面する建具の種別 ・ A種（・ すべて・ 図示による・ ） ・ B種（・ すべて・ 図示による・ ） ・ C種（・ すべて・ 図示による・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 （建具符号：・ 図示による・ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 （・ 図示による・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ・ 図示による ・ 表面色 標準色 ・ 特注色 取付工法 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する ガラス * 複層ガラス ・	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	③ アルミ製建具	・	③	* 図示による・	・樹脂製建具	・	・	* 図示による・	③ 鋼製建具	③ 外部	③	* 図示による・	・	・内部	・	* 図示による・	・鋼製軽量建具	・	・	* 図示による・	・スチール製建具	・	・	* 図示による・	種類	材質	線径	網目	③ 防虫網	* 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製	* 0. 25mm以上	* 16～18メッシュ	・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm	8 鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表5. 4. 2] 9 鋼製軽量建具 [5. 2. 2] [5. 5. 2～4] 10 スチール製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5] [5. 7. 2、3] ⑪ 建具用金物 ⑫ 鍵 [5. 8. 4] 13 自動ドア開閉装置 [5. 9. 2、3]	性能値等（・ 図示による ・ ） 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による スチール鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ くつずりの仕上げ スチール鋼板を用いる場合 * H L 以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 改修標準仕様書表5. 4. 2による ・ 使用箇所（ ） 標準型鋼製建具の形状及び寸法 * 図示による 性能値等（・ 図示による ・ ） 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ） 鋼板の材料 * 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ スチール鋼板 スチール鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 改修標準仕様書表5. 5. 1による ・ 使用箇所（ ） 召合せ、縦小口包み板の材質 * 鋼板 ・ 標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 * 図示による 性能値等（・ 図示による ・ ） 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ） ステンレス鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ * H L ・ 鏡面仕上げ ・ 工法 スチール鋼板の曲げ加工 * 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・ a角 ・ b角 ・ c角） 金物の種類及び見え掛り部の材質等 * 改修標準仕様書表5. 8. 1により適用は図示による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ * 改修標準仕様書表5. 8. 2による ・ 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ * 改修標準仕様書表5. 8. 3による ・ 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ * 標準仕様書表5. 8. 4による 木製建具に使用する戸車及びビール * 標準仕様書表5. 8. 5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 * 図示による ・ マスターキー * 製作する（ 組） ・ 製作しない ③ 既存に組込む 鍵の製作本数 * 各室3本1組（室名札付き） ・ 鍵箱 ・ 設ける（ 個用 組） ③ 設けない 引き戸用駆動装置 性能 ・ * 改修標準仕様書表5. 9. 1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 * 改修標準仕様書表5. 9. 2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目	14 自閉式上吊り引戸 装置 [5. 10. 3] 15 重量シャッター [5. 11. 2、3] 16 軽量シャッター [5. 12. 2～4] 17 オーバーヘッドドア [5. 13. 2、3]	引き戸用検出装置 性能 * 改修標準仕様書表5. 9. 3による 種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押し釦スイッチ タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・ 大形（開・閉）押し釦スイッチ ・ 非接触スイッチ 戸の開閉方式 * 図示による ・ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない 凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない 性能等 * 改修標準仕様書表5. 10. 1による ・ シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa 開閉方式の種別 * 電動式（手動併用） ・ 手動式 安全装置 急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 * 図示による ・ 障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 * 図示による ・ 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 * 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年 12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの ・ 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 * JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） * JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯） めっきの付着量 * Z12又はF12を満足するもの ・ ガイドレール、まぐさ、雨係に用いる座板及び座板のガイドレール、雨掛りに 用いるスイッチ類、ツマミ類のふたの材質 スチール鋼板の材料 * SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 開閉方式の種別 * 手動式 ・ 電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）N/m² 安全装置 障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 * 図示による ・ スラットの材質の種類 * JISG3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板） めっきの付着量（* Z06又はF06を満足するもの ・ ） ・ JISG3322（塗装溶融55%亜鉛-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板） めっきの付着量（* AZ90を満足するもの ・ ） スラットの種類 * インターロック形 ・ オープンラッピング形 シャッターケース * 設ける ・ 設けない ガイドレール（中柱共）の材質 * スチール鋼板（SUS304） 厚さ1. 0mm ・ 座板の材質（屋外の場合） * スチール製既製品 ・ <table><tr><th>セクション材料 による区分</th><th>風圧力による 強さの区分</th><th>開閉方式 による区分</th><th>取納方式 による区分</th><th>ガイドレール の材料</th></tr><tr><td>* スチールタイプ ・ ガラスタイプ ・ アルミ-ガラスタイプ</td><td>・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50</td><td>* バランス式 ・ チーン式 ・ 電動式</td><td>* スライド形 ・ ロール式 ・ バリット形 ・ バリット形</td><td>* 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ スチール鋼板</td></tr></table> 電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 * 図示による ・	セクション材料 による区分	風圧力による 強さの区分	開閉方式 による区分	取納方式 による区分	ガイドレール の材料	* スチールタイプ ・ ガラスタイプ ・ アルミ-ガラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	* バランス式 ・ チーン式 ・ 電動式	* スライド形 ・ ロール式 ・ バリット形 ・ バリット形	* 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ スチール鋼板
			工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																	
			・サンダー工法 ・高圧水洗工法 吐出圧力 ③ 30MPa～50MPa ・50MPa～100MPa ・100MPa以上	* 既存仕上面全体 ・ 図示による	4-2外壁改修 工事（パレット 打放し仕上外壁）																																																																																																																																	
			・塗膜はく離剤工法 ・水洗い工法	* 既存仕上面全体 ・ 図示による	4-3外壁改修 工事（パレット 仕上げ外壁）																																																																																																																																	
				* サンダー工法、高圧水洗工法、 塗膜はく離剤工法の処理範囲 以外の既存仕上面全面 ・ 図示																																																																																																																																		
			石綿含有仕上塗材は、9章環境配慮改修工事による																																																																																																																																			
			仕上塗材の種類																																																																																																																																			
			種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考																																																																																																																															
			③ 薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り																																																																																																																																
				③ 外装薄塗材 E	・砂壁状 ・着色骨材 砂壁状	・吹付け ③ ローラー	軒天																																																																																																																															
・可とう形 外装薄塗材 E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り																																																																																																																																				
・防水形 外装薄塗材 E	・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー 塗り																																																																																																																																				
・外装薄塗材 S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																				
・内装薄塗材 W	・京壁状	・吹付け																																																																																																																																				
・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C	・吹放し ・凸部処理 ・ひき 起こし		・吹付け ・こて塗り																																																																																																																																		
・外装厚塗材 E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け																																																																																																																																				
③ 複層 仕上塗材	・複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・可とう形複層 塗材 C E ・防水形複層 塗材 C E ③ 防水形複層 塗材 E ・防水形複層 塗材 R E	③ ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様		・吹付け ③ ローラー 塗り	耐候形（ 種） 樹脂 ・アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン 系 ③ アクリル ゴム系 ・ふっ素系 溶媒 ③ 水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ③ つやあり ・つやなし ・メタリック																																																																																																																																	
	・軽量骨材 仕上塗材	・吹付用軽量 塗材 ・こて塗り用 軽量塗材		・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り																																																																																																																																	
	・可とう形 改修用仕 上げ塗材	・可とう形改修 塗材 E ・可とう形改修 塗材 R E ・可とう形改修 塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・ローラー 塗り ・吹付け	耐候形（ 種）																																																																																																																																	
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																		
	③ アルミ製建具	・	③	* 図示による・																																																																																																																																		
	・樹脂製建具	・	・	* 図示による・																																																																																																																																		
	③ 鋼製建具	③ 外部	③	* 図示による・																																																																																																																																		
	・	・内部	・	* 図示による・																																																																																																																																		
	・鋼製軽量建具	・	・	* 図示による・																																																																																																																																		
	・スチール製建具	・	・	* 図示による・																																																																																																																																		
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																			
③ 防虫網	* 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製	* 0. 25mm以上	* 16～18メッシュ																																																																																																																																			
・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																			
セクション材料 による区分	風圧力による 強さの区分	開閉方式 による区分	取納方式 による区分	ガイドレール の材料																																																																																																																																		
* スチールタイプ ・ ガラスタイプ ・ アルミ-ガラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	* バランス式 ・ チーン式 ・ 電動式	* スライド形 ・ ロール式 ・ バリット形 ・ バリット形	* 溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ スチール鋼板																																																																																																																																		
図 面 番 号	工 事 名		図 面 種 別		縮 尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大匠）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3																																																																																																																													
A-4	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事		仕様書 4		1：100	R7. 2	設計者																																																																																																																															
建築																																																																																																																																						

⑦

塗装改修工事

①

材料
[7.1.3]

②

下地調整、素地ごしらえ
[7.2.1～7.3.7]

③

錆止め塗料塗り
[7.4.2、3]

④

仕上げ塗料塗り
[7.5.2～7.12.2]

防火材料

・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする（ ）

塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲

＊ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す

下地調整、素地ごしらえ

下地面の種別	塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	＊RB種	・A種・B種	—
鉄鋼面	＊RB種	C種	—
鉄鋼面(DP)	＊RB種	B種	—
亜鉛めっき面	＊RB種	・A種・B種	—
珪外面	＊RB種	・A種・B種	・行う
せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面			
コンクリート面(DP以外)	＊RB種	B種	・行う
ALC板			
コンクリート面 押出成形セメント板面(DP)	・RB種・RC種	・A種・B種	・行う
せっこうﾌﾞｰﾄﾞ面、 その他ﾌﾞｰﾄﾞ面	＊RB種	・A種・B種	—

錆止め塗料塗りの種別

塗装面		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP	新規見え出し	・A種
		新規見え隠れ	・B種
		塗替え	・C種
	EP-G	新規見え出し	・A種 ＊B種
		新規見え隠れ	・B種
		塗替え	・C種
DP	新規	・A種	
	亜鉛めっき面	SOP	新規鋼製建具等
新規その他	・B種		
鋼面	塗替え	・C種	
	EP-G	新規鋼製建具等	・A種
	新規その他	・B種	
	塗替え	・C種	

塗装の種類	塗装面	工程	
・合成樹脂調合ﾌﾞｰﾄﾞ塗り(SOP)	木部屋外	＊B種	＊A種
	木部屋内	＊B種	＊B種
	鉄鋼面	＊B種	・A種 ＊B種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	＊B種	＊B種
塗料の種類 ＊1種 ・2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	＊A種	＊B種

①

ｸﾘｱｺｰﾅｰ塗り (CL)

木部 ・A種 ＊B種 | ・A種 ＊B種 |

①

ﾌﾗｲﾙ樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)

 ・A種 ＊B種 | ・A種 |

①

耐候性塗料塗り(DP)

上塗り等級
・1級
・2級
・3級

コンクリート面及び
押出成形セメント板面

①

鉄鋼面

 ・A-1種 ・B-1種 ・C-1種 | ・A-1種 ・B-1種 ・C-1種 |

①

つや有合成樹脂エマルジョンﾌﾞｰﾄﾞ塗り(EP-G)

コンクリート面 ＊B種 | ・A種 ＊B種 || 珪外面 | ＊B種 | ・A種 ＊B種 |
せっこう	＊B種	・A種 ＊B種
ﾌﾞﾗｽﾀｰ面		
せっこうﾌﾞｰﾄﾞ面	＊B種	・A種 ＊B種
屋内木部	＊B種	＊A種
屋内鉄鋼面	＊B種	・A種 ＊B種
屋内亜鉛めっき面	＊A種	・A種 ＊B種

①

合成樹脂エマルジョンﾌﾞｰﾄﾞ塗り(EP)

 ＊B種 | ・A種 ＊B種 |

①

ｸﾘｱ樹脂ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り(UC)

・ステン塗り ・A種 ＊B種 | ・A種 ＊B種 || | ・オイルｽﾃｰﾝ塗り(OS) | | |

①

木材保護塗料塗(WP)

 ・A種 ＊B種 | ・A種 ＊B種 |

つや有合成樹脂エマルジョンﾌﾞｰﾄﾞ塗り(コンクリート面、珪外面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾌﾞｰﾄﾞ面、その他ﾌﾞｰﾄﾞ面)の塗替えの場合のしみ止め

＊ B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾅｰとする

・

合成樹脂エマルジョンﾌﾞｰﾄﾞ塗りの塗替えの場合のしみ止め

＊ B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾅｰとする

・

特記事項

・ 高日射反射率塗料塗り
下地調整(改修標準仕様書表7.2.2)

・ RA種 ＊RB種 ＊RC種

工程	塗料その他		塗付量 (kg/m2)
	規格名称	等級	
塗料塗り	屋根用高日射反射率塗料	2種	塗料製造所仕様による
		・1級・2級 ・3級	

ｸﾘｱｺｰﾅｰ塗りA種の工程2の着色

・ 適用する(着色剤：・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)

・ 適用しない

ｸﾘｱ樹脂ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りの工程1の着色

・ 適用する(着色剤：・ 油性顔料着色剤 ・ 溶剤系顔料着色剤)

・ 適用しない

オイルｽﾃｰﾝ塗りの工程等

・

鉄筋工事

⑧

①

鉄筋
[8.2.1]

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び名	備考
＊SD295	＊D16以下	
＊SD345	＊D19以上	
・		
・		

鉄線の形状等

種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
＊溶接金網			
・鉄筋椅子			

鉄筋の継手の方法等

部位	継手方法	呼び名
柱、梁の主筋	＊ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	
耐力壁の鉄筋	＊重ね継手	
その他の鉄筋	・ 重ね継手	
()		

継手位置

＊ 図示による

柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ

＊ 図示による

耐力壁の重ね継手の長さ

＊ 改修標準仕様書 8.3.4(3) (7) による

・ 改修標準仕様書 表8.3.2

鉄筋の定着長さ

＊ 改修標準仕様書 8.3.4(5) (6) による

・ 図示による

機械式定着工法

・ 適用する

適用箇所

・ 図示による()

種類

・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定
・ 嵌合グラウト固定 ・

④

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(溶接金網を含む)
[8.3.5]

最小かぶり厚さ ＊改修標準仕様書 表8.3.6による

・ 軽量コンクリートを適用する場合

適用箇所()

・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm

・ 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害を受けるおそれのある部分等)

適用箇所()

・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm

5

圧接完了後の圧接部の試験
[8.3.8]

超音波探傷試験 ＊行う(全圧接部)

受注者が検査機関と直接締結した契約書を監督職員に提示する

6

機械式継手
[8.4.2]
(5.5.5)

適用箇所 ＊図示による

H12建告第1463号に適合する性能 ＊A級 ・()

種類

・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機ｸﾞﾗウト方式
・ 有機ｸﾞﾗウト方式 ・

・ 端部ねじ加工継手

・ モルタル充填式継手

・

施工完了後の継手部の試験

・ 外観試験 試験対象 ＊全数

試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・

試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・

特記事項

・ 超音波測定試験

試験対象 ・ 採取ロット

・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所ので、最大200箇所程度とする。

・

試験の箇所数 1ロットに対して()箇所

・ 全数

試験項目 ＊挿入長さ

試験方法 ＊JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による

不合格となった場合の措置

・

適用箇所 ＊図示による

H12建告第1463号に適合する性能 ＊A級 ・()

溶接継手の工法 ・ 図示による()

鉄筋相互のあき

・ 標準仕様書5.3.5(4)による ・ 評定等の評価内容による

・ 図示による()

施工完了後の溶接部の試験

・ 外観試験 試験対象 ＊全数

試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・

試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・

・ 超音波探傷試験

試験対象 ・ 採取ロット

・ 1組の作業班が1日に行った溶接箇所ので、最大200箇所程度とする。

試験の箇所数 1ロットに対して()箇所

・ 全数

試験項目 ＊内部欠陥の検出

試験方法 ＊JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による

不合格となった場合の措置

・

仕様 形状 ・ スパイラル筋 ・()

種類の記号 ・ SR235またはSWM-P ・()

呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による

⑧

②

コンクリート工事

①

コンクリートの種類
[8.1.3]

コンクリートの類別

＊Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)

・Ⅱ類(JIS A 5308に適合したコンクリート)

＊普通コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
・24	改修標準仕様書表8.1.2による	2.3程度	登・立上 床受け金物設置
・21			
・18			

構造体強度補正值 ＊改修標準仕様書表8.2.4による ・ 図示による

・軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所
・24	＊21		・1種 ・2種	図示による
・	・			

構造体強度補正值 ＊改修標準仕様書表8.2.4による ・ 図示による

種類

＊普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリセメントA種又はフライアッシュセメントA種

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする

・高炉セメントB種 適用箇所()

・フライアッシュセメントB種 適用箇所()

7

溶接継手
[8.4.3]

7

溶接継手
[8.4.3]

8

割裂補強筋
[8.21.6][8.22.7]

8

割裂補強筋
[8.21.6][8.22.7]

15

型枠の加工及び組立
[8.7.8]

16

コンクリートの打込み工法等
[8.21.8][8.23.5]
[8.23.6][8.23.7]

17

コンクリートの打設工法の種類

補強工法	打設工法	
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・流込み工法	・全ての増設壁 ・ 図示による
	・圧入工法	・全ての増設壁 ・ 図示による
	・	・
	・	・
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖ﾌﾟﾛｯｸ巻き工法)	・流込み工法	・全ての柱補強部分 ・ 図示による
	・圧入工法	・全ての柱補強部分 ・ 図示による
	・	・
	・	・

図面番号

A-7

建築

工事名

出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事

図面種別

仕様書 7

縮尺

1:100

設計年月

R7.2

出雲市教育委員会 教育施設課

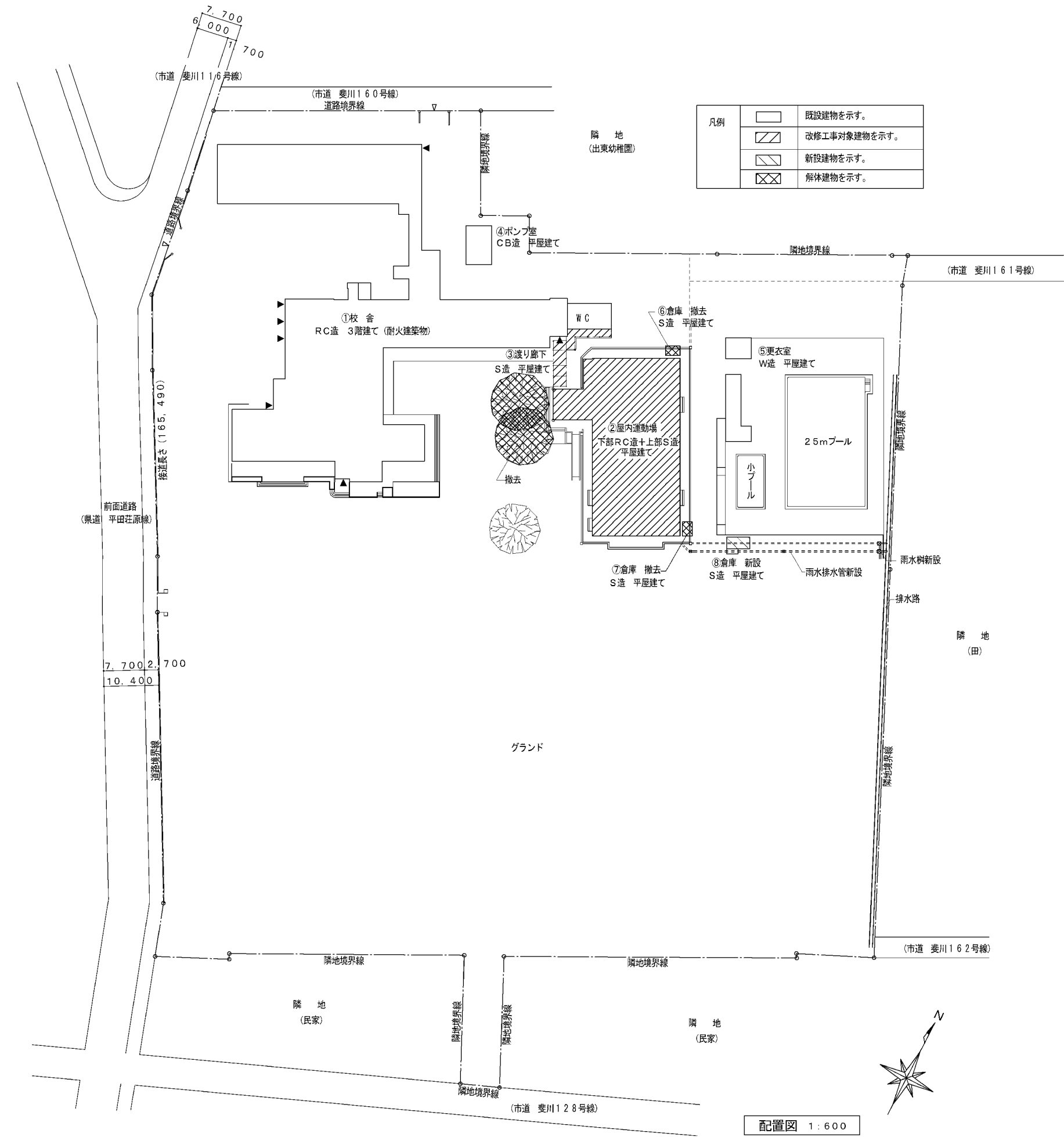
設計者

㈱福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089

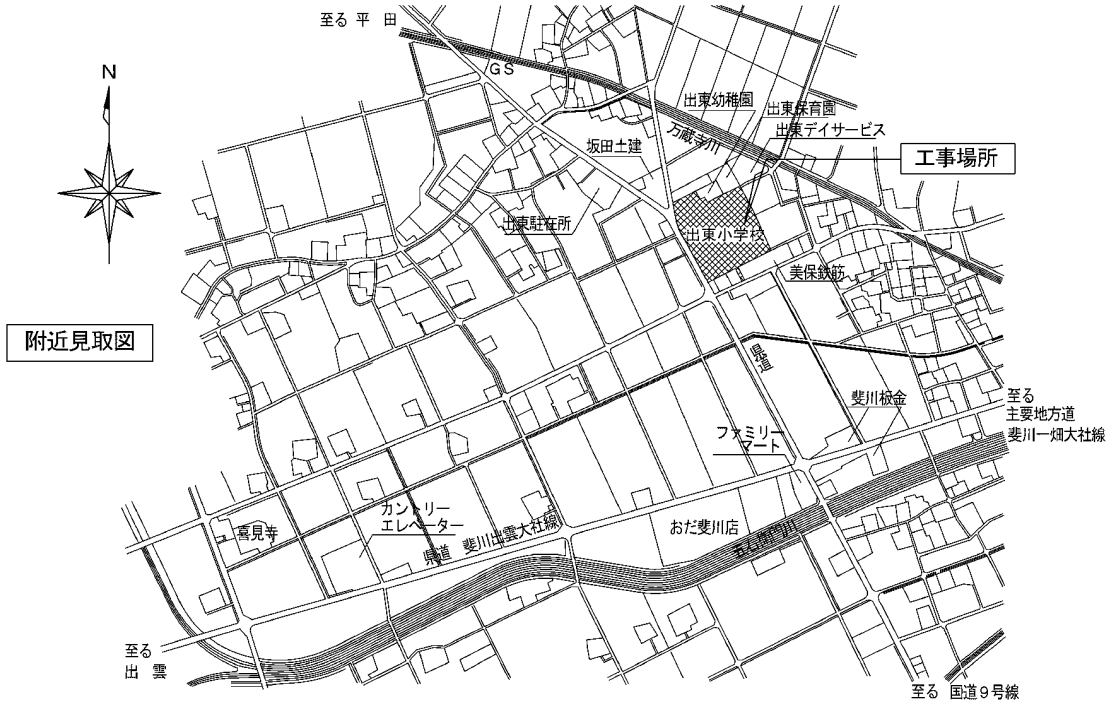
一級建築士 (大庄) 190284 福田 実

鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3

[illegible]



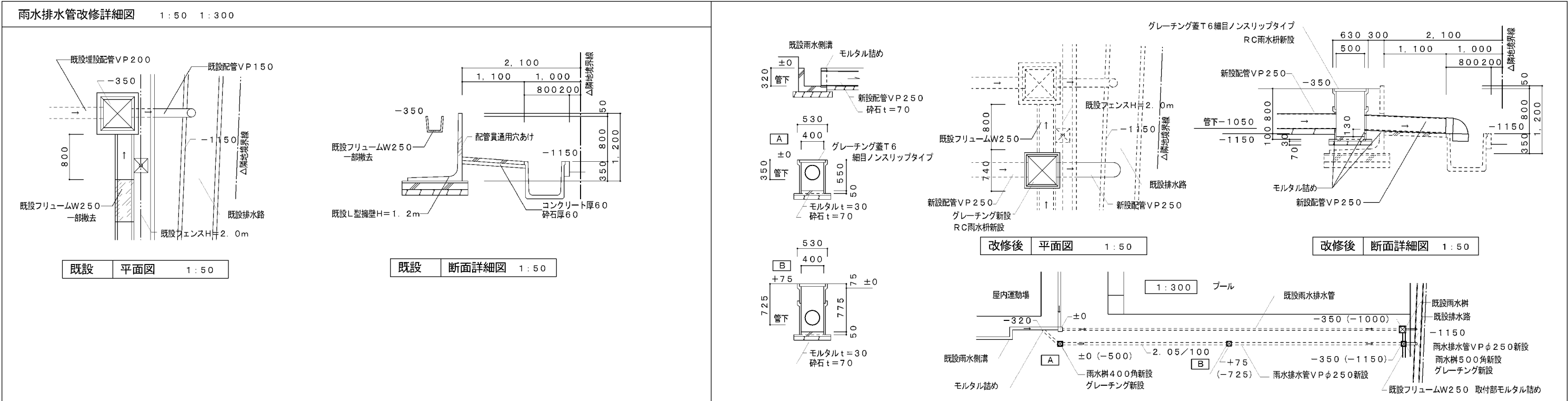
工事概要	特記事項
A-1) 外部改修工事	
1) 屋根改修カバー工法、軒先・雪止めアングル撤去・新設	詳細は別図による
2) 2階外壁 角波カラー鉄板撤去の上、角波カラーSGL鋼板張り、PBt=15下地新設	同 上
3) 2階外壁 柱型・梁型モルタル塗り撤去の上、カラーSGL鋼板張り、耐火野地板t=18下地・鉄骨鋼線新設 鉄骨間柱柱脚部一部撤去の上、間柱補強材新設 壁モルタル塗り撤去の上、角波カラーSGL鋼板張り、PBt=15下地・鉄骨鋼線新設 立上RC一部撤去・新設塗膜防水材料	同 上
4) 2階ギャラリー庇 高圧水洗浄の上、塗膜防水材料 先端垂れ壁下端RC撤去の上、アルミ既製品見切新設	同 上
5) 1階既設RC外壁・柱型モルタルひび割れ・浮き補修、C1処理の上、防水形複層塗材E塗	同 上
6) 軒天 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E塗替 鉄筋暴露部改修（玄関柱共）	同 上
7) アルミ製及びスチール製建具撤去（一部RC壁共）・新設、網戸新設 一部既設そのまま、クレセント・戸車・ガラス止めシーリング・建具枠周囲シーリング撤去・新設	同 上
8) 塩ビ製軒樋・縦樋・鋼製保護管撤去・塩ビ製樋新設、SUS製吊り金物・掴み金物・下端カバー共	同 上
9) 玄関屋根既存アスファルト防水撤去の上、露出塩ビ製シート防水新設、立上りRC一部撤去部・RC増打ち、笠木撤去・新設 先端塩ビ製軒樋新設、SUS製吊り金物共	同 上
10) 大走り高圧水洗浄、雨水排水管撤去・新設	同 上
11) 外部RC手洗い撤去、SUS製既製品流し（高さ調整）・SUS製配管カバー新設、排水管撤去・新設	同 上
12) 樹木：伐採・抜根 2本 幹周2.4m H=12.0m 葉枝周20.0m	
A-2) 内部改修工事	
1) 玄関 壁系地調整の上、EP-G塗 塗替、天井新設、一部塩ビ床シート撤去・新設、木製下足入れ・掃除用具入れ撤去 スチール製既製品下足入れ・掃除用具入れ新設	詳細は別図による
2) バリアフリートイレ一部壁系地調整の上、EP-G塗 塗替	同 上
3) アリーナ 床塗替（ライン共）・一部張替、壁既設の上シナ合板t=5.5張り・一部既設仕上材撤去・新設、鉄骨柱・手摺他塗替 防球ネット・バスケットゴール・ネット用柱床固定金具撤去・新設、鉄棒用床固定金具・吊り縄撤去	同 上
4) ギャラリー 床ひび割れ補修の上塗床新設立上共、暗幕撤去・新設 壁合板張り、下地共撤去・シナ合板t=5.5張りCL塗新設	同 上
5) ステージ 床撤去・新設、既設根太レベル調整及び補強、樞・杵改修 袖・垂幕・バトン他撤去・新設、縦帳撤去	同 上
6) ステージ下物置 既設木床組補強・棚新設 建具撤去・新設	同 上
7) 器具庫（1）（2）床一部張替、壁一部撤去・新設 RC壁系地調整の上、EP-G塗 塗替 樞・パレーボール支柱受け新設 手摺新設 備品庫 棚新設	同 上
8) 木製建具撤去・新設 格子一部建具枠共、既設枠面取りの上塗替	同 上
A-3) ③渡り廊下棟 屋根高圧水洗浄、鉄骨柱梁・樞ケレンの上EP-G塗替、腰壁ボード共 壁：塩ビ波板及び木製軸組撤去 屋根（WC棟前）：塩ビ波板及び軒・縦樋撤去、新設	同 上
A-4) 外部倉庫 ⑥⑦2棟撤去・⑧1棟新築、（RC基礎新設、既製品倉庫設置）	同 上
A-5) 雨水排水配管・雨水樹新設グレーチング蓋共、既設排水路へ接続	同 上



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	
A-10	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	配置図 附近見取図 工事概要	1:600	R7.2	設計者	(株)福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大匠）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
建築						

屋根	アリーナ	カラー鉄板瓦棒葺 t=0.5 アスファルトフェルト20kg+木毛板 t=25mm下地 雪止めアングル 留め金具共 2段×2 屋根頂部 ベンチレータ	そのまま そのまま 撤去 ケレン	外壁	2階部分	角波カラー鉄板 t=0.5張り 下端水切り共	撤去	軒樋	塩ビ製150角・受け掘金物共	撤去	その他	手洗い：RC+人研ぎ仕上げ	撤去
	ギャラリー	カラー鉄板瓦棒葺 t=0.5	そのまま		2階部分 ギャラリー 東西及び北面	鉄筋下地ラスモルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 間柱・梁型共 庇・立上：RC+モルタル塗 間柱下端及び周辺立上RC・床モルタル塗浮き部分 庇・垂壁：RC+モルタル塗 下端H=50	撤去 高圧水洗浄 撤去	堅樋	塩ビ製VPφ100・堀み掘金物共 養生管：GPφ125 L=1800	撤去 撤去		水栓6箇所・給水配管・排水管φ40（機械設備工事）	撤去
					1階部分	コンクリート下地モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 器具庫（2）AW下RC腰壁 一部コンクリート打ち放し	高圧水洗浄 撤去 そのまま	基礎立上り	モルタル塗コテ押さえ	高圧水洗浄		床下換気口：スチール製（亜鉛メッキ）	そのまま
	玄関	アスファルト露出防水D-2（砂付ルーフィング） コンクリートコテ押さえ SUS笠木及び壁取り合い水切り・水上平場SUS張り 立上コンクリート ルーフトレイン 2箇所	撤去 そのまま 撤去 一部撤去（W=500 2箇所） 撤去		1階部分	コンクリート下地モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 器具庫（2）AW下RC腰壁 一部コンクリート打ち放し	高圧水洗浄 撤去 そのまま	ポーチ	床モルタル塗 t=30	高圧水洗浄		南面：スチール製タラップ 1箇所	撤去
					1階北西角部分	防火サイディング張り	高圧水洗浄	波り廊下	屋根 塩ビ波板葺き 取付水切・破風カバー・谷水切共 樋樋 塩ビφ105/2 堅樋塩ビφ60 金物共	撤去 撤去		ポーチ西側 樹木 2本	撤去
	軒天	ギャラリー・玄関	コンクリート打ち放しの上、アクリルリシン吹付		高圧水洗浄	建具	アルミサッシ 戸車及びクレセント ガラス止めシーリング・建具枠周囲シーリング 器具庫（2） 1箇所 アリーナ 3箇所 アルミドア スチールドア 器具庫（1） 1箇所	撤去 撤去 撤去 撤去 撤去	渡り廊下	屋根 塩ビ波板葺き 取付水切・破風カバー・谷水切共 樋樋 塩ビφ105/2 堅樋塩ビφ60 金物共 屋根 折版 軒樋塩ビ120角 鉄部 SOP塗 壁 塩ビ波板張り 木造下地共 腰壁 フレキシブルボード t=6 SOP塗 アスベスト含有建材		撤去 撤去 高圧水洗浄・ケレン ケレン 撤去 ケレン 一部撤去	外構工事

屋根	アリーナ	カバー工法 カラーSGL鋼板瓦棒葺 $t=0.4$ ゴムアスルーフィング $t=1.0$ 下地 雪止め 2段 $\times 2$: SUS $L40 \times 40 \times 3$ SUS留め金具共 既設ベンチレーター: 素地調整の上、DP塗	新設 新設 塗替	外壁	2階部分	角波カラーSGL鋼板 $t=0.4$ 4張り 下地PB $t=15$ 透湿防水シート グラスウール $16kg$ $t=100$ 軒下水切り: カラーSGL鋼板 $t=0.4$ 木下地 150×25 下端水切り: カラーSGL鋼板 $t=0.4$	新設	軒樋 1×2	塩ビ製V $300 \times$ SUS吊金具共	新設	その他	手洗い: SUS製流し $L=1800$ (高さ調整) SUSバック立上 $H=450$ 配管スペース	新設
	ギャラリー	カバー工法 カラーSGL鋼板瓦棒葺 $t=0.4$ ゴムアスルーフィング $t=1.0$ 下地	新設		1階部分	角波カラーSGL鋼板 $t=0.4$ 4張り 下地PB $t=15$ 透湿防水シート グラスウール $16kg$ $t=100$ 軽量鉄骨下地共 水切り: カラーSGL鋼板 $t=0.4$ 間柱・梁型: カラーSGL鋼板 $t=0.8$ 張り 下地耐火野地板 $t=18$ 透湿防水シート 庇・立上: 間柱下端補強及び周辺立上RC打放し・既設立上 庇・床: 一部樹脂モルタル塗コテ押さえ 浮き・ひび割れ補修 庇・垂壁: 同上		新設	基礎立上り	モルタル塗コテ押さえ モルタル浮き・ひび割れ補修の上、NAD塗 下端 $H=100$		一部新設 塗替	床下換気口: アルミ換気ガラリ水切 900×250 SUS防虫網付 16箇所 取付SUSビス $8本$ $L=50$ 周囲シーリング
軒天	玄関	塩化ビニル系樹脂シート防水: 平場 (非歩行) S-M2 立上S-F2 立引き塩ビ改修ドレイン $\phi 60$ 2箇所 アルミ笠木 $W=200$ 同コーナー2箇所 小口フタ4箇所 水上立上: 水切SUS $t=0.6$ RC嵩上げ・EXP/J部ポリエチレンフォーム $t=50$ 打込み 庇立上: RC嵩上げ・外側樹脂モルタル塗り 防水形複層塗材E塗	新設 新設 新設 新設 新設・塗替	建具	アルミサッシ	戸車及びクレーセント ガラス止めシーリング・建具枠周囲シーリング AW $3 \times AW4$ 網戸・網戸用レール上下共	新設 新設 新設	ポーチ	床モルタル塗 $t30$	そのまま	外構工事	軒天・ポーチ柱: 鉄筋暴露 鉄筋ケレンさび止め塗の上、ポリマーセメントモルタル塗	改修
	ギャラリー・玄関	下地処理の上、外装薄塗材E塗	塗替		アルミドア	アリーナ 3箇所 器具庫 (1) 1箇所 器具庫 (2) 1箇所	新設	犬走り	モルタル塗 $t30$ 器具庫 (2) 前、階段RC+モルタル塗 雨水排水管VP $\phi 100$ ・コンクリート $W=400$ 共 側溝蓋 CPL6 900×400 ズレ止め $L40 \times 3$ 付 溶融亜鉛メッキ処理 3枚	そのまま 新設 新設 新設		外壁: モルタル塗浮き アンカーピン工法 外壁: モルタルひび割れ 下地処理の上、防水形複層塗材E 軽量鉄骨造物置1棟 基礎共	改修 塗替 新設
								渡り廊下	屋根 カラーSGL鋼板 $t=0.4$ 立平置き 下地耐火野地板 $t=20$ +ゴムアスルーフィング $t=1.0$ 取付水切・破風カバー・谷水切共カラーSGL鋼板 $t=0.4$ 軒樋塩ビ $105/2$ 堅樋塩ビ $\phi 60$ SUS金物共 屋根折版・鉄部 EP-G塗 下地調整共 腰壁 EP-G塗 同上一部ケイ酸カルシウム板 $t=6$	新設 新設 新設 塗替 塗替 新設		雨水配排水管VP $\phi 250$ (貫通部モルタル詰め) 雨水樹RC 400 角2箇所・ 500 角1箇所 グレーチング蓋 $T6$ 細目ノンスリップタイプ共	新設



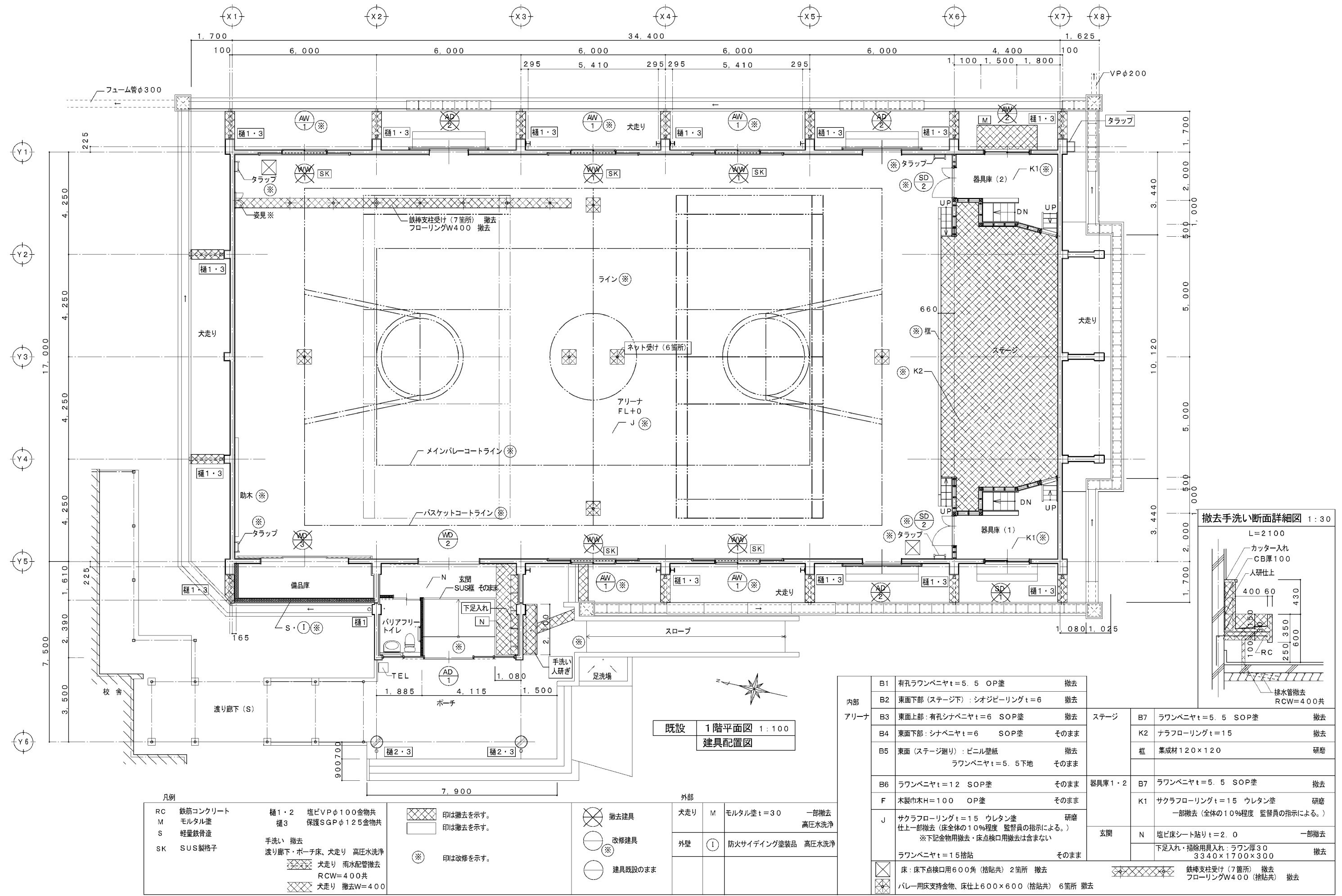
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	 出雲市教育委員会 教育施設課		(株)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089 一級建築士(大臣) 190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-11	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	外部仕上表	1:50	R7. 2	設計者		
建築		既設・改修後 雨水排水管改修詳細図	1:300				

既設 内部仕上表																			
室名	床		下地		巾木		下地		壁		下地		天井		下地		CH	備考	
1階 玄関	モルタル塗 t＝3 0	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ EP塗	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ EP塗	そのまま	RC	そのまま	アクリルリシン吹付	そのまま	RC	そのまま	3, 1 0 0	SUS框	そのまま
	塩ビ床シート貼り t＝2. 0	一部撤去	M	そのまま					ビニル壁紙＋PB t＝1 2. 5下地	そのまま	L G S W 6 5	そのまま	梁型：モルタル金コテ押さえ EP塗	そのまま	RC	そのまま	3, 0 2 5	下駄箱・掃除用具入れ	撤去
アリーナ	サクラフローリング t＝1 5 ウレタン塗装 研磨 (床全体の1 0 %程度撤去 監督員の指示による。) ※下記金物用撤去・床点検口用撤去部分は含まない		鋼製床組	そのまま	木製H＝1 0 0 OP	そのまま	RC＋W	そのまま	ラワンベニヤ t＝1 2 SOP塗 撤去 南面（ステージ廻り）：ビニル壁紙＋ラワンベニヤ t＝5. 5下地 撤去 南面下部（ステージ下）：シオジビーリング t＝6 撤去 南面上部：有孔シナベニヤ t＝6 SOP塗 撤去 南面下部：シナベニヤ t＝6 SOP塗 撤去 有孔ラワンベニヤ t＝5. 5 OP塗 撤去 モルタル金コテ押さえ EP塗 そのまま		W	そのまま	木毛板 t＝2 5（Hジョイナー）	そのまま			8, 4 0 0～ 1 0, 0 0 0	バレー支柱の床受金具：6箇所 床6 0 0角共 鉄棒（床支持金物共） バスケットゴール板 防球ネット（南側はそのまま） 肋木 校章・額（2箇所）	撤去 一時取外し
	床仕上及びラワン合板 t＝1 5捨貼撤去は下記による 鉄棒床受け金具部分撤去（図示） バレー用床支持金物用、6 0 0×6 0 0 6箇所 撤去 床下点検口用6 0 0角 2箇所 撤去		ラワン合板 t＝1 5 捨貼一部撤去																
ステージ	ナラフローリング t＝1 5 ウレタン塗装 撤去		W床束組	そのまま 根太 一時取外し	同 上	撤去	RC＋W	そのまま	モルタル金コテ押さえ EP塗 そのまま ラワンベニヤ t＝5. 5 SOP塗 一部撤去 2 F Lより上：外壁部分一部撤去1 0 %程度		RC	そのまま W そのまま	同 上	そのまま			7, 8 5 0～ 9, 1 0 0	框：シオジ集成材1 2 0×1 2 0 吊り下げボタン・映写スクリーン・バック幕・一文字幕・袖幕 綴帳	塗替 撤去 撤去
器具庫（1）	ナラフローリング t＝1 5 ウレタン塗装 研磨 (床全体の1 0 %程度撤去 監督員の指示による。)		W床束組	そのまま ラワン合板 t＝1 5 捨貼 そのまま	同 上	撤去	RC＋W	そのまま	同 上 そのまま 同 上 一部撤去		RC	そのまま W そのまま	同 上	そのまま			7, 5 0 0～ 7, 8 5 0		
器具庫（2）					同 上	撤去	RC＋W	そのまま	同 上 そのまま 同 上 一部撤去		RC	そのまま	同 上	そのまま			7, 5 0 0～ 7, 8 5 0		
備品庫	モルタル塗り	そのまま	同 上	そのまま	—————				モルタル塗 t＝2 0＋アクリルリシン吹付 合板張り t＝1 2	そのまま そのまま	RC・S	そのまま	アクリルリシン吹付	そのまま	RC	そのまま			
バリアフリートイレ	ビニル床シート t＝2. 0貼り	そのまま	RC＋M	そのまま	ビニル巾木H＝1 0 0	そのまま	RC	そのまま	ビニル壁紙＋PB t＝1 2. 5下地 撤去 RC打放し EP塗 一部ケレン	そのまま	L G S W 6 5 RC	そのまま そのまま	EP塗	そのまま	RC	そのまま	2, 8 1 5	洋式便器・手洗カウンター・鏡・手摺	そのまま
ステージ下物置	モルタル金コテ押さえ	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ 撤去 耐水ベニヤ t＝4 一部撤去	そのまま	RC W	そのまま 一部撤去	ステージ床仕上表し	撤去	—————		1, 7 3 5		
2階 ギャラリー	同 上	ケレン	同 上	そのまま	同 上	一部撤去	同 上	一部撤去	立上り部：モルタル塗 t＝2 0＋アクリルリシン吹付 撤去 有孔ラワンベニヤ t＝5. 5 OP塗	そのまま	RC S W	そのまま そのまま 撤去	有孔ラワンベニヤ t＝5. 5 OP塗	撤去	W	そのまま 撤去 (1 0 %程度)	3, 8 0 0	鋼製手摺・タラップ 木製格子（ラワン1 2 0×4 0 OS） カーテンボックス 暗幕	ケレン そのまま そのまま 撤去

改修後 内部仕上表

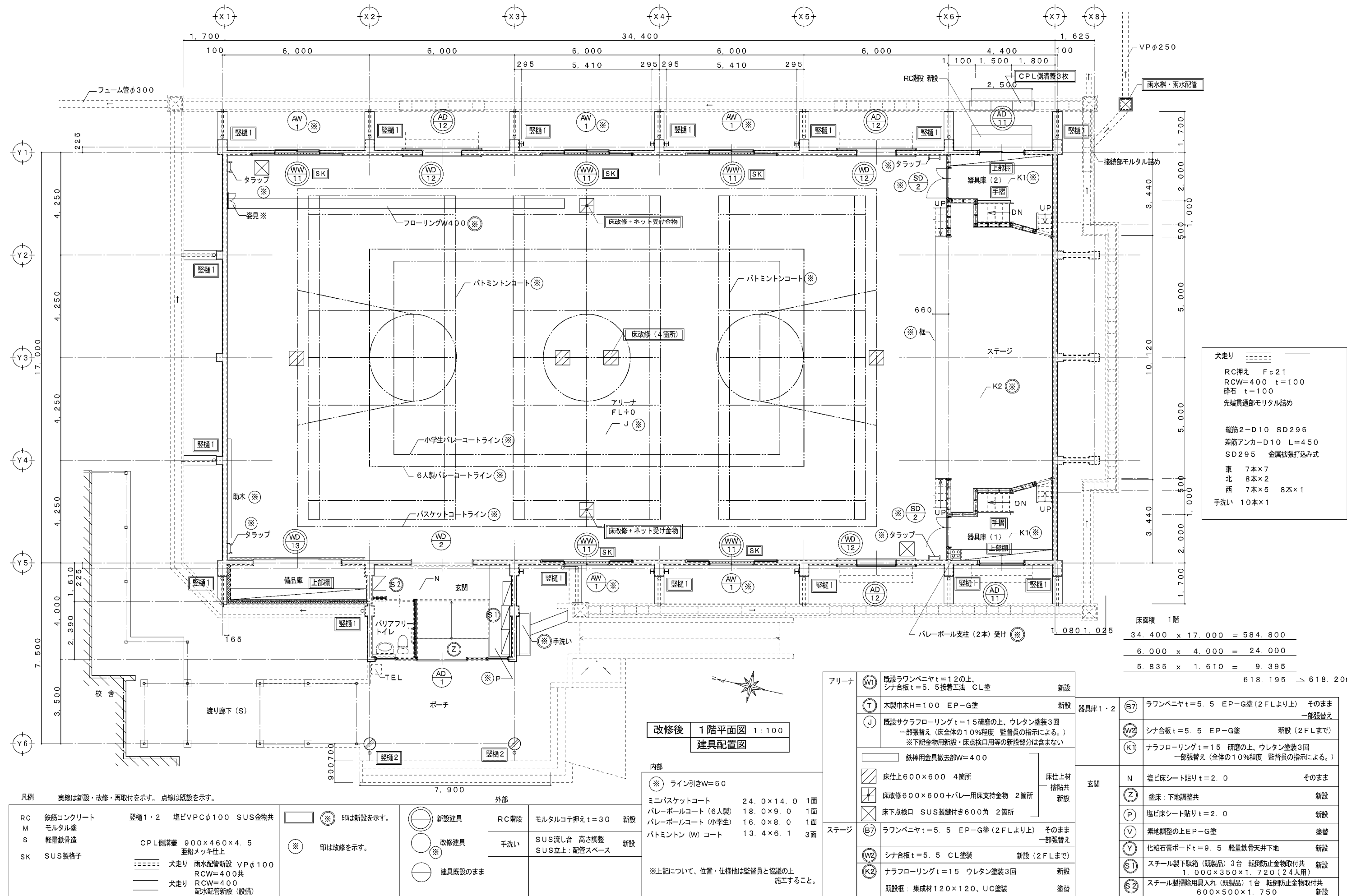
改修後 内部仕上表																			
共通事項 壁・天井 合板接着工法 ウレタンボンド併用カラーフィニッシュネイル留め																			
室名	床		下地		巾木		下地		壁		下地		天井		下地		CH	備考	
1階 玄関	モルタル塗 t＝3 0	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ EP－G塗	塗替	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ 素地調整の上、EP－G塗	塗替	RC	そのまま	化粧石膏ボード t＝9. 5 軽鉄下地共	新設	RC	そのまま	3, 1 0 0	SUS框	そのまま
	塗床：下地調整共	新設										L G S W 6 5	そのまま				3, 0 2 5	スチール製下駄箱（既製品）3台 転倒防止金物取付共	新設
	塩ビ床シート張り t＝2. 0	一部新設	M	そのまま														1. 0 0 0×3 5 0×1. 7 2 0	
アリーナ	サクラフローリング t＝1 5	一部新設	鋼製床組	そのまま	既設巾木の上、 木製 H＝1 0 0 EP－G塗	新設	RC＋W	そのまま	既設ラワンベニヤの上、 シナ合板 t＝5. 5 接着工法 C L 塗 ウレタンボンド併用カラーフィニッシュネイル留め 既設：残置合板 t＝1 2 ビス止め、箇所は既設ビス 1／2 程度	新設	W	そのまま	木毛板 t＝2 5（Hジョイナー）	そのまま			8, 4 0 0～ 1 0, 0 0 0	防球ネット ライン引き 防球ネット・ワイヤー取付金物共 バスケット板新設及び落下防止ワイヤー取付：6箇所 天井吊りタイプ：操作ワイヤー取替共	（南側はそのまま） 新設
	※下記金物用新設・床点検口用等の新設部分は含まない																		
	ウレタン塗装 3 回	塗替																床仕上 6 0 0×6 0 0 4箇所 床改修 6 0 0×6 0 0＋バレー用床支持金物 2箇所 バレーボール用支柱 2本 EP－G 塗 肋木 UC 塗	塗替
	床仕上材及びラワン合板 t＝1 5 捨貼新設は下記による		ラワン合板 t＝1 5	一部新設															
ステージ	ナラフローリング t＝1 5	新設	W床束組	一部補強 根太	木製 H＝1 0 0 EP－G 塗	新設	RC＋W	そのまま	モルタル金コテ押さえ 素地調整の上、EP－G 塗	塗替	RC	そのまま	同 上	そのまま			7, 8 5 0～ 9, 1 0 0	校章・額（2箇所） 既設框：シオジ集成材 1 2 0×1 2 0、UC 塗 木枠：素地調整の上、C L 塗 吊り下げボタン・映写スクリーン・袖幕・一文字幕	塗替 新設
	ウレタン塗装 3 回	新設							シナ合板 t＝5. 5 接着工法 C L 塗 2 F L 以上：外壁部分一部新設 1 0 % 程度	新設	W	そのまま							
器具庫 1	ナラフローリング t＝1 5 （全体の 1 0 % 程度 監督員の指示による。）	一部新設	W床束組	そのまま ラワン合板 t＝1 5 そのまま	同 上	新設	RC＋W	そのまま	同 上	そのまま	同 上	そのまま	同 上	そのまま			7, 5 0 0～ 7, 8 5 0	棚 D＝4 5 0 UC 塗 手摺 H＝1 1 0 0 3 0×1 0 0 UC 塗 バレーボール支柱（2本）受け金物	新設
器具庫 2	ウレタン塗装 3 回	塗替			同 上	新設	RC＋W	そのまま	同 上	そのまま	同 上	そのまま	同 上	そのまま			7, 5 0 0～ 7, 8 5 0	棚 D＝4 5 0 UC 塗 手摺 H＝1 1 0 0 3 0×1 0 0 UC 塗	新設
備品庫	モルタル塗り	そのまま	同 上	そのまま	―――				モルタル塗 t＝2 0＋アクリルリシン吹付 合板張り t＝1 2	そのまま そのまま	RC・S	そのまま	アクリルリシン吹付	そのまま	RC	そのまま	2, 5 2 0～ 2, 5 7 0	棚 D＝4 5 0 UC 塗	新設
バリアフリートイレ	ビニル床シート t＝2. 0	そのまま	RC	そのまま	ビニル巾木 H＝1 0 0	そのまま			ビニル壁紙＋PB t＝1 2. 5 下地 RC 打放し 素地調整の上、EP－G 塗	そのまま 一部塗替	L G S W 6 5 RC	そのまま そのまま	EP 塗	そのまま	RC	そのまま	2, 8 1 5	棚北側 下地用合板 t＝1 5 D＝4 5 0 2箇所 棚：補強材取付共 3 6 0 0×3 5 0 0 床組補強材取付	新設
ステージ下物置	モルタル金コテ押さえ	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ	そのまま	RC	そのまま	モルタル金コテ押さえ 耐水ベニヤ t＝4 下地用合板 t＝1 2（北面）	そのまま 新設	RC W	そのまま	ステージ床仕上表し	新設	―――	1, 7 3 5			
2階 ギャラリー	塗床：下地調整共	塗替	RC＋M	ひび割れ補修	塗床：下地調整共（立上り：窓枠下まで）	塗替	同 上	一部新設 ひび割れ補修	立上り：モルタルひび割れ補修の上、塗床	塗替	RC S	そのまま そのまま	有孔シナ合板 t＝5. 5 接着工法 C L 塗 ウレタンボンド併用カラーフィニッシュネイル留め	新設	W	新設 （1 0 % 程度）	3, 8 0 0	鋼製手摺・タラップ 鉄骨柱・鉄骨梁（柱より 1. 0 m まで） 木製格子（ラワン 1 2 0×4 0） カーテンボックス 暗幕・カーテンレール共	EP－G 塗 塗替 新設（別途工事）
備考	RC： コンクリート M： モルタル	EP－G： エマルジョン調合ペイント艶あり EP： エマルジョン調合ペイント艶無し	耐水 PB： シーjing 石膏ボード PB： 石膏ボード 塗床： ウレタン系防塵塗料			LG： 軽量鉄骨壁下地 W： 木造軸組・木造下地・造作材			UC： ウレタン塗装 2－UC DP： 耐侯性塗料（1種） CL： クリアラッカー塗			体育備品 搬出・搬入 敷地内運搬（場所は学校と協議による）		既設木製建具枠 既設 AW・SD 額縁 EP－G 塗 塗替 新設木製建具枠 図示以外 UC 塗		8 11 8	面取り加工 既設・新設：木製建具枠・額縁 ・3 方枠共 バリアフリートイレは除く		

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 年 月	出雲市教育委員会 教育施設課		市街福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大臣）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-12	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設・改修後 内部仕上表	——	R7. 2	設 計 者		
建築							

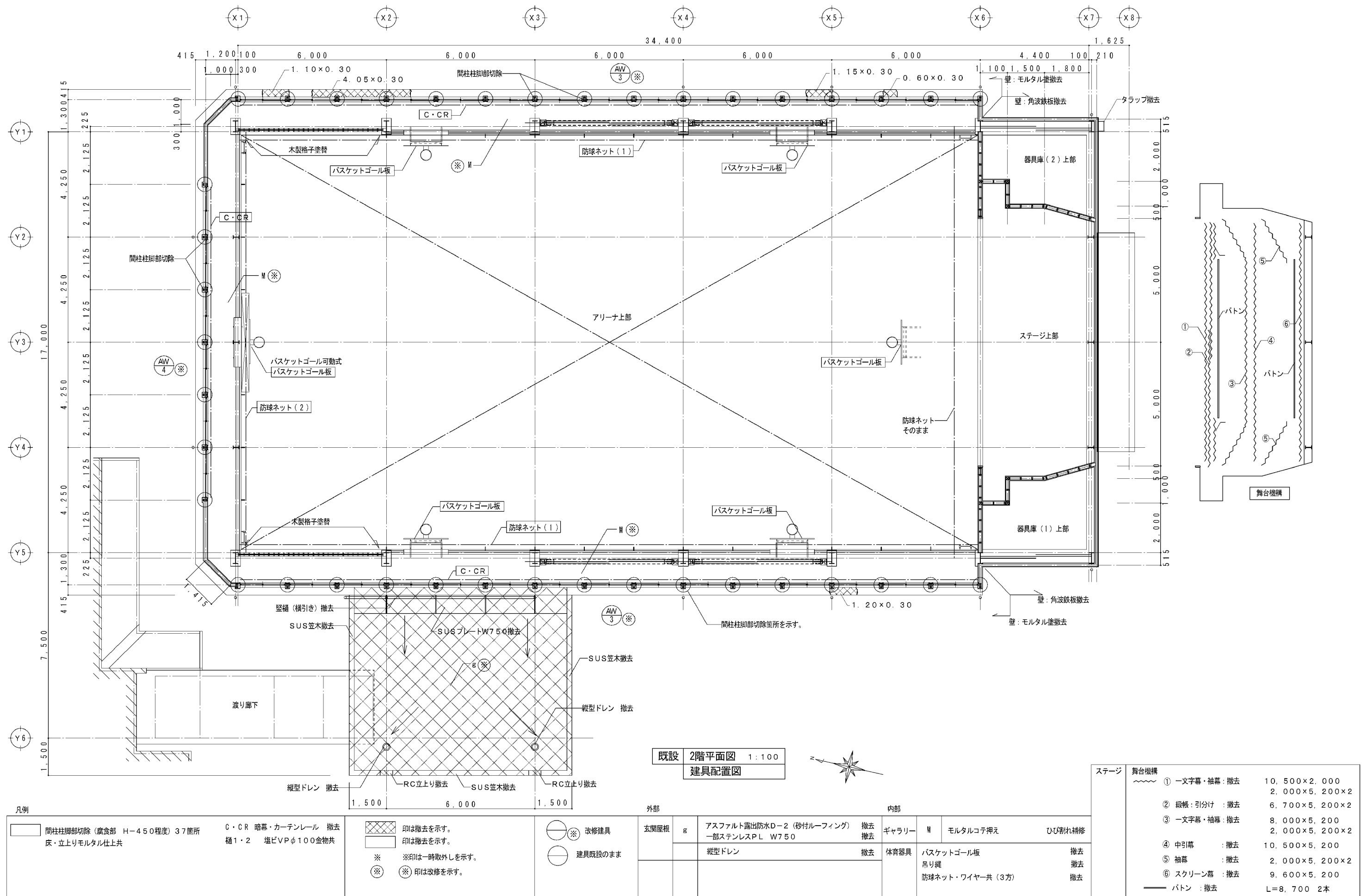


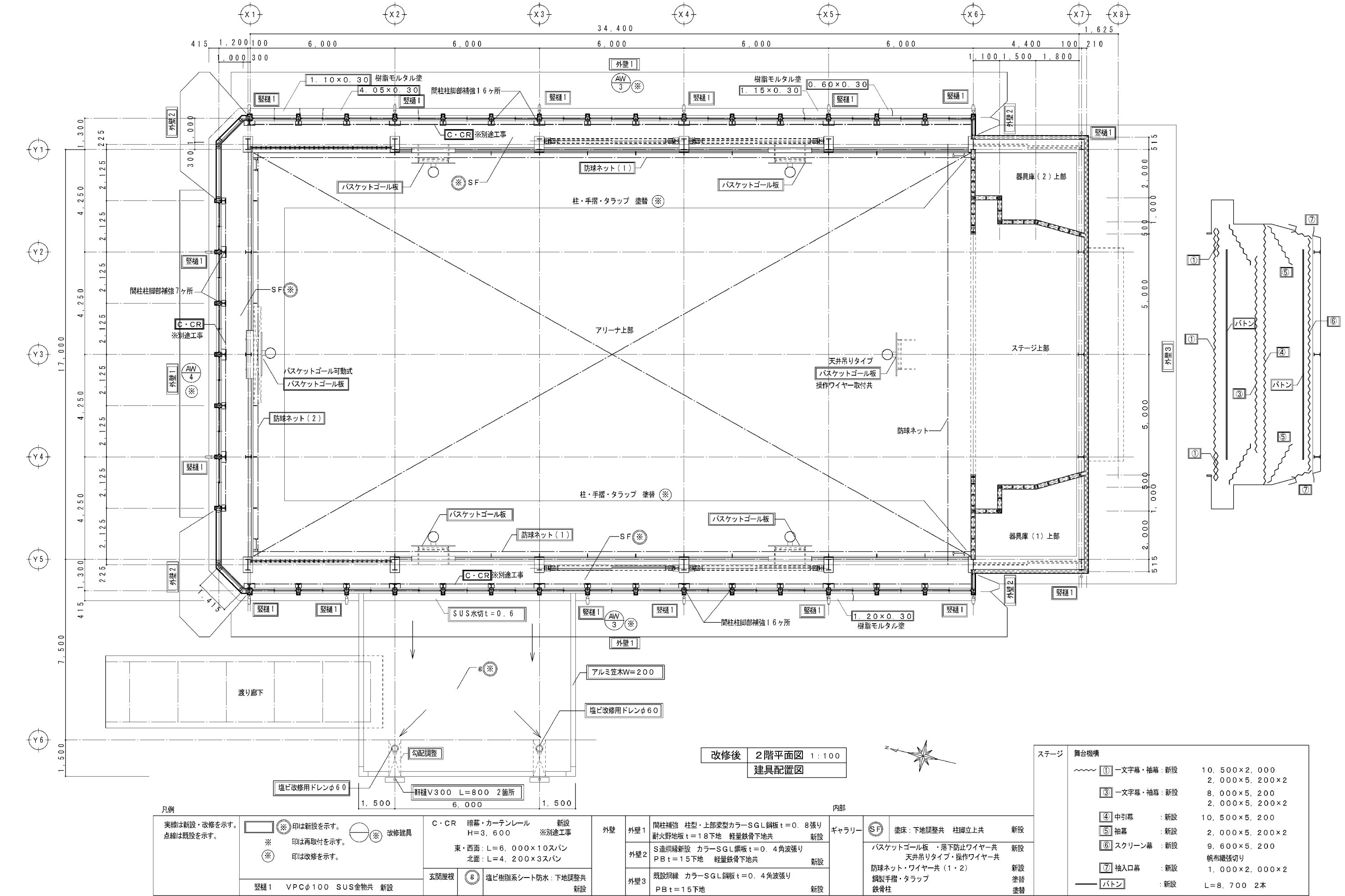
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	設計者
A-13	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設1階平面図 建具配置図	1:100 1:30	R7.2		
建築		手洗い詳細図				

（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089
一級建築士（大匠）190284 福田 実
鳥根県出雲市豊川町富村1488番地3



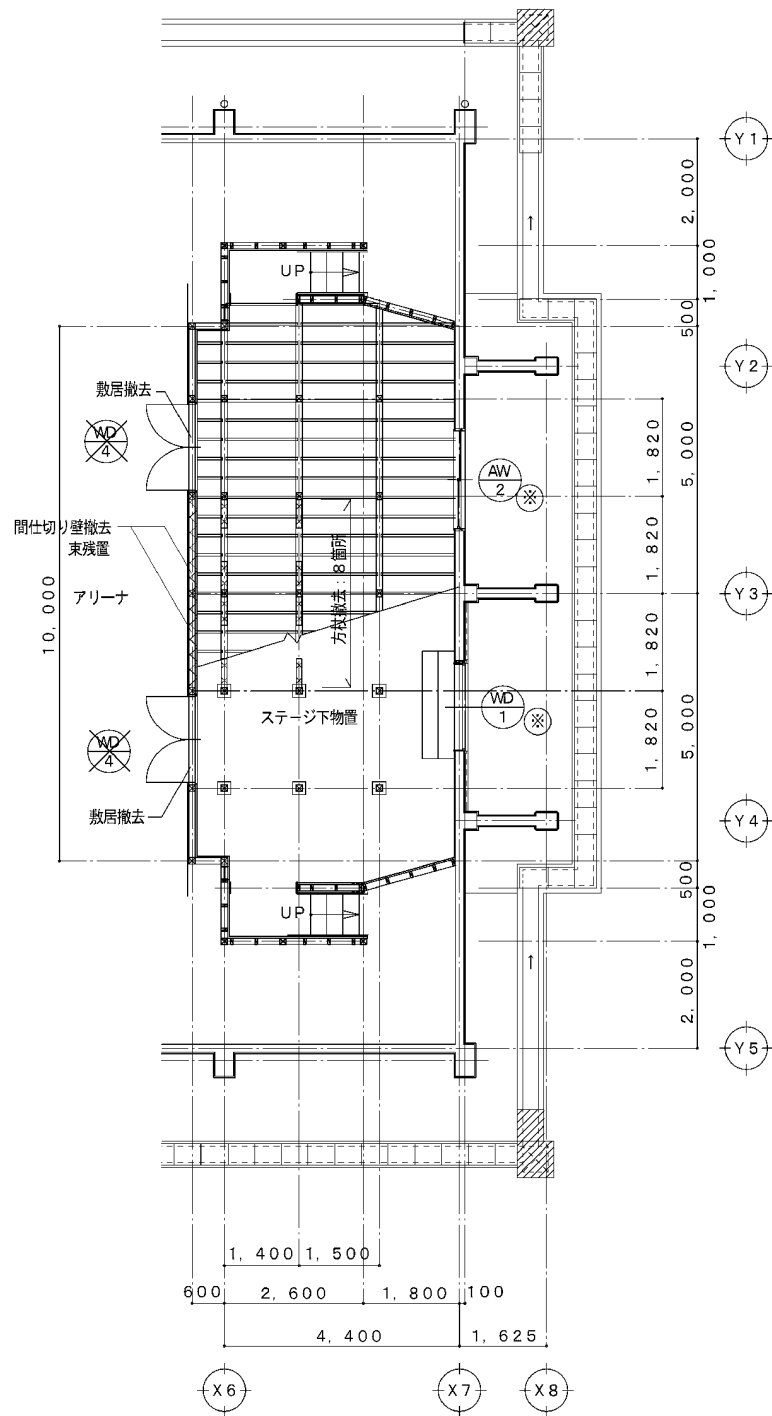
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089
A-14	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 1階平面図 建具配置図	1：100	R7.2	設計者		一級建築士（大匠）190284 福田 実
建築							鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3





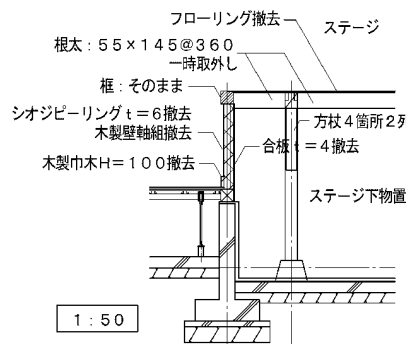
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	設計者
A-16 建築	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 2階平面図 建具配置図	1:100	R7.2		

(有)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089
一級建築士 (大匠) 190284 福田 実
鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3

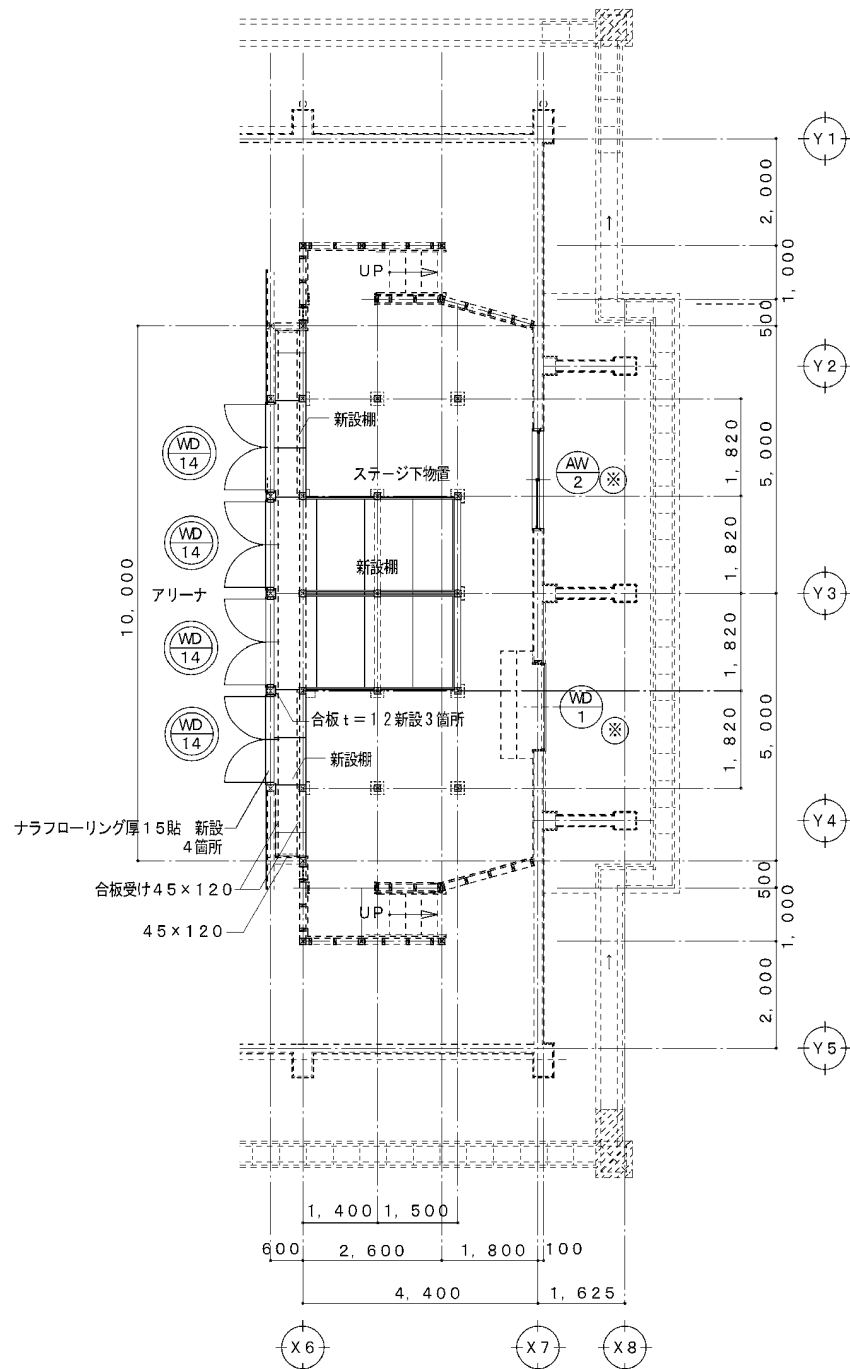


既設 ステージ下平面図 1:100

凡例 内部	
ステージ下物置	木造床組 根太: 55×145@360 一時取外し 床束: 115角 そのまま 方杖: 100角 8箇所撤去 間仕切り壁 印は撤去を示す。 撤去建具 改修建具



1:50

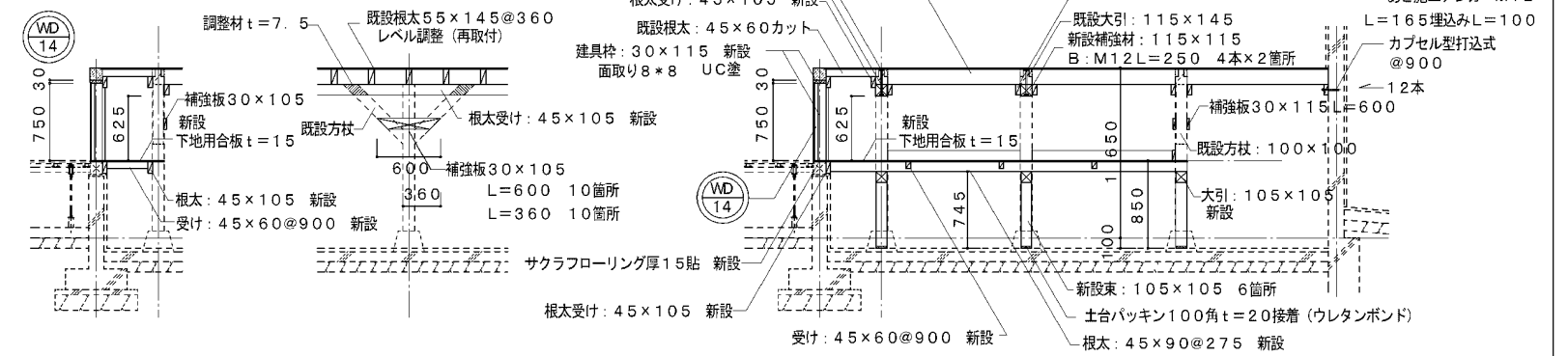


改修後 ステージ下平面図 1:100

凡例 内部 ステージ下物置	
木造床組補強 既設根太: 55×145@360 レベル調整 (再取付) 既設床束: 115角 そのまま 既設方杖: 100角 8箇所撤去 根太受け補強: 45×105 新設	新設
棚 (北面) 下地用合板 t=15 2箇所 3110×560~600	新設
棚 (中央) 下地用合板 t=15 1箇所 3500×3600	新設
新設建具 改修建具	

ステージ木床組詳細図 1:50

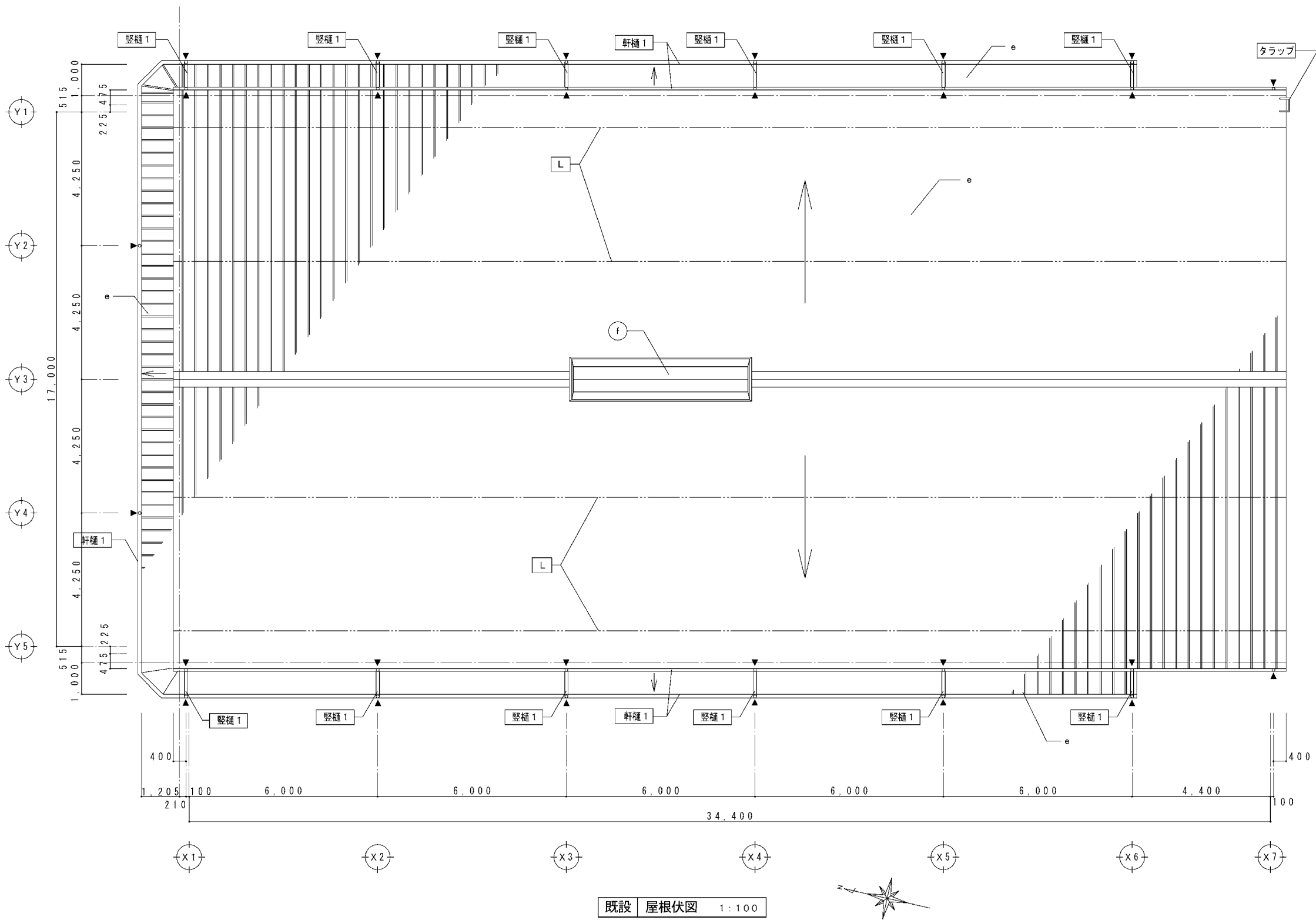
※寸法は仕上寸法とする。



改修後 床補強図 1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	設計者
A-17	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設・改修後 ステージ下平面図	1:100 1:50	R7.2		
建築						

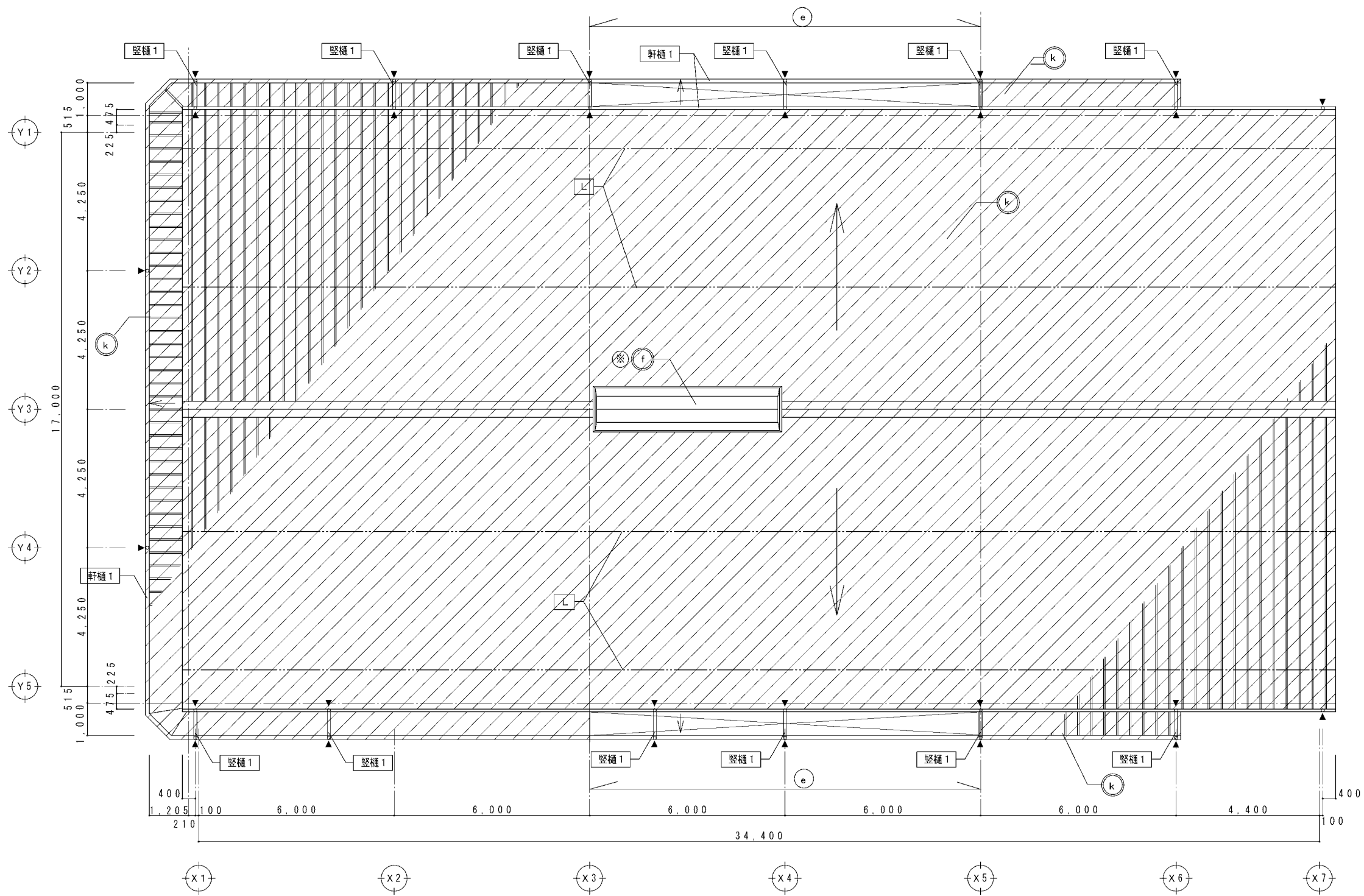
(有)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089
一級建築士 (大匠) 190284 福田 実
鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3



既設 屋根伏図 1:100

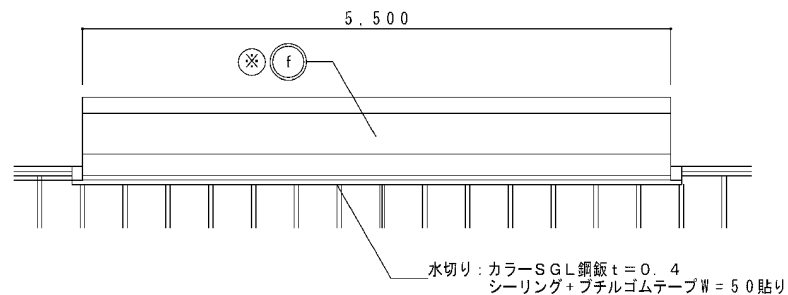
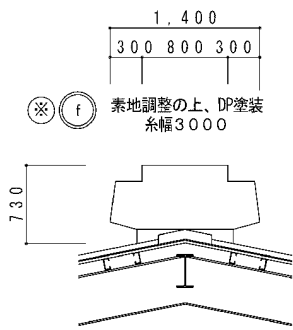
凡例			
	印は撤去を示す。		タラップ STKφ42.7×2.4 φ19@300
	印は撤去を示す。		軒樋1 塩ビ製150×100受金物共
			縦樋1 VPφ100掘み金物共
			▼ じょうご位置を示す。
			L 雪止めアングル位置を示す。
	e	長尺カラー鉄板瓦葺き t=0.5	残置
	f	ベンチレーター750×5500 GL鋼板パンチング	ケレン

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 年 月	 出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大匠）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-18	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設 屋根伏図	1：100	R7. 2	設 計 者		
建築							



改修後 屋根伏図 1:100

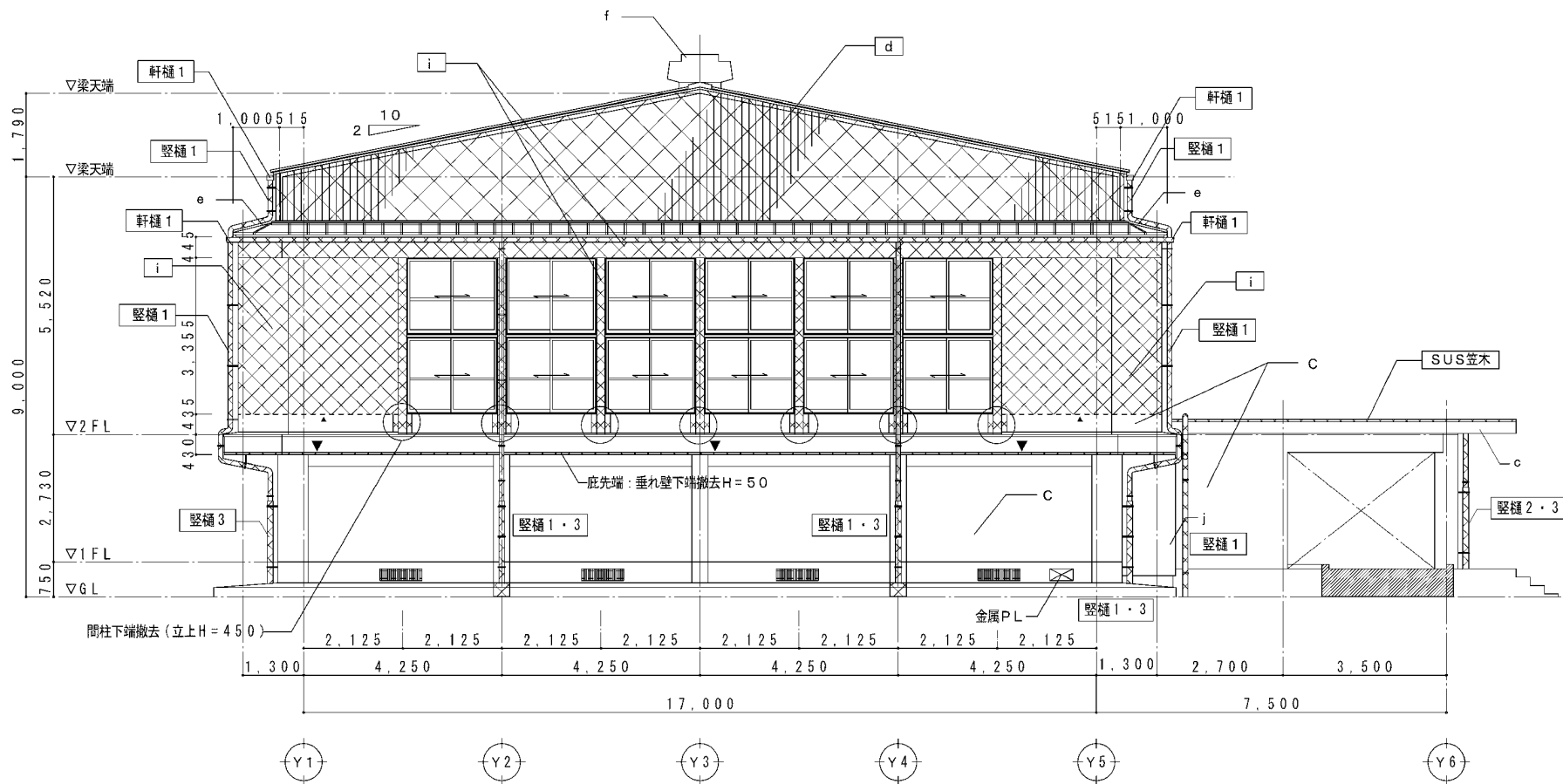
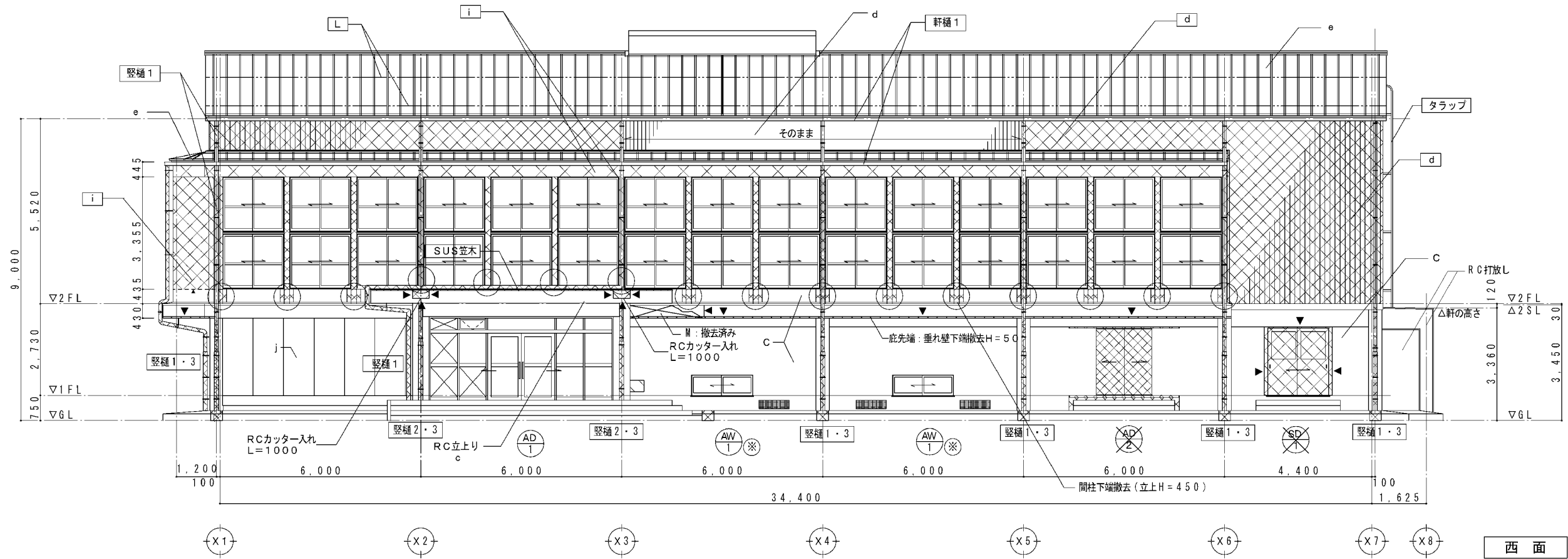
改修後 ベンチレーター詳細図 1:50



凡例

軒樋1	塩ビV300SUS受金物共	新設	e	長尺カラー鉄板瓦棒葺きt0.5	既設のまま
縦樋1	VPCφ100 SUS掘み金物共	新設	f	既存ベンチレーター750×5500 G.L鋼板バンチング	塗替 素地調整の上、DP塗装
▼	じょうご位置を示す。		k	カバー工法 カラーSGL鋼板瓦棒葺きt=0.4 ゴムアスルーフィングt=1.0下地	新設
L	雪止めアングル位置を示す。	新設		印はカバー工法範囲を示す。	
				雪止め 2段×2：SUSL40×40×3 SUS製止金具	

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		(有)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089 一級建築士(大匠) 190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-19	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 屋根伏図 部分詳細図	1:100 1:50	R7.2	設計者		
建築							



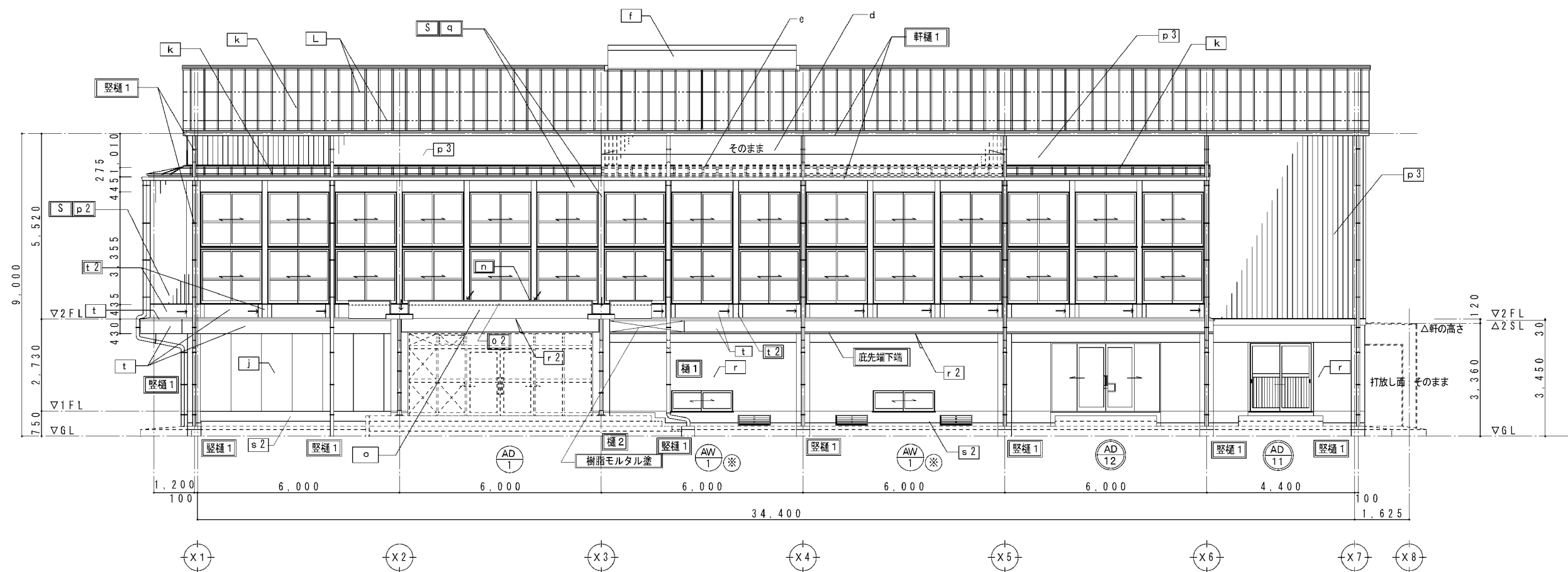
凡例	
	印は撤去を示す。
	印は撤去を示す。
	RCカッター入れを示す。
	撤去建具
	改修建具
	外壁モルタル カッター入れ
	タラップ STKφ42.7×2.4 φ19@300
	軒樋1 塩ビ軒樋150×100受金物共
	縦樋1・2 VPφ100掘み金物共
	縦樋3 GP養生管φ125 L=1800
	じょうご位置を示す。
	雪止めアングル位置を示す。
	外壁モルタル カッター入れ
c	コンクリート下地モルタル塗りの上にアクリルリシン吹付 高圧水洗浄+モルタル浮き、ひび割れ補修
d	角波カラー鉄板張り 撤去(一部そのまま)
e	カラー鉄板瓦棒葺きt0.5 そのまま
f	屋根頂部ベンチレータ ケレン
g	アスファルト露出防水(砂付ルーフィング) 撤去
h	SUS笠木及び壁取合い水切り 撤去
i	モルタル塗りの上にアクリルリシン吹付 鉄筋下地 撤去
j	防火サイディング張り 高圧水洗浄 そのまま

北面

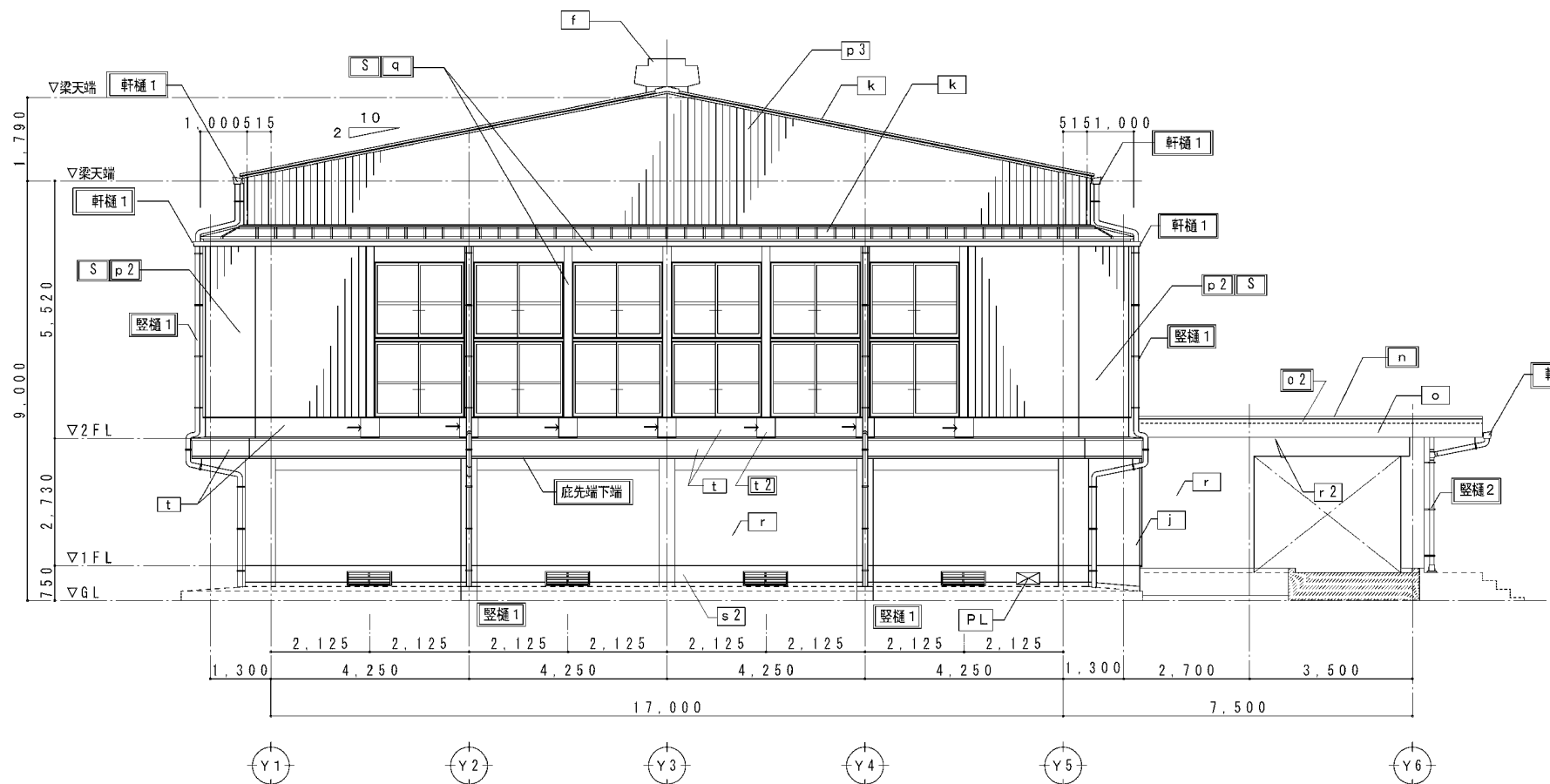
既設 立面図(1) 1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	設計者
A-20	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設 立面図(1) 西・北面	1:100	R7.2		
建築						

(有)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089
一級建築士(大匠) 190284 福田 実
鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3



改修後 西立面図 1:100



改修後 北立面図 1:100

凡例

実線は新設・改修を示す。
点線は既設を示す。

印は新設を示す。 印は改修を示す。

新設建具 改修建具

軒樋1・2 塩ビV300SUS受金物共 新設
堅樋1・2 塩ビVPCφ100 SUS掴み金物・下端カバー共 新設

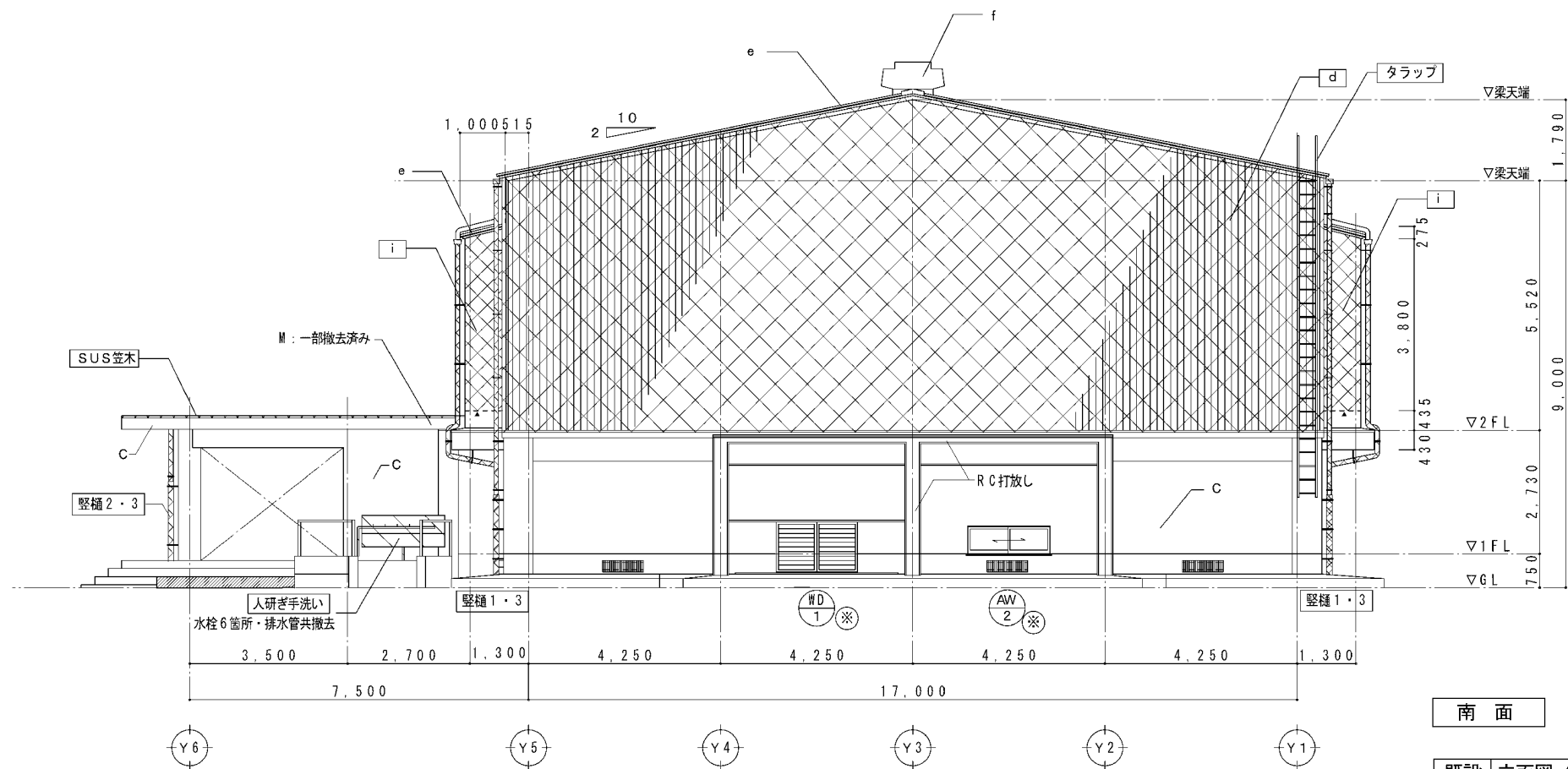
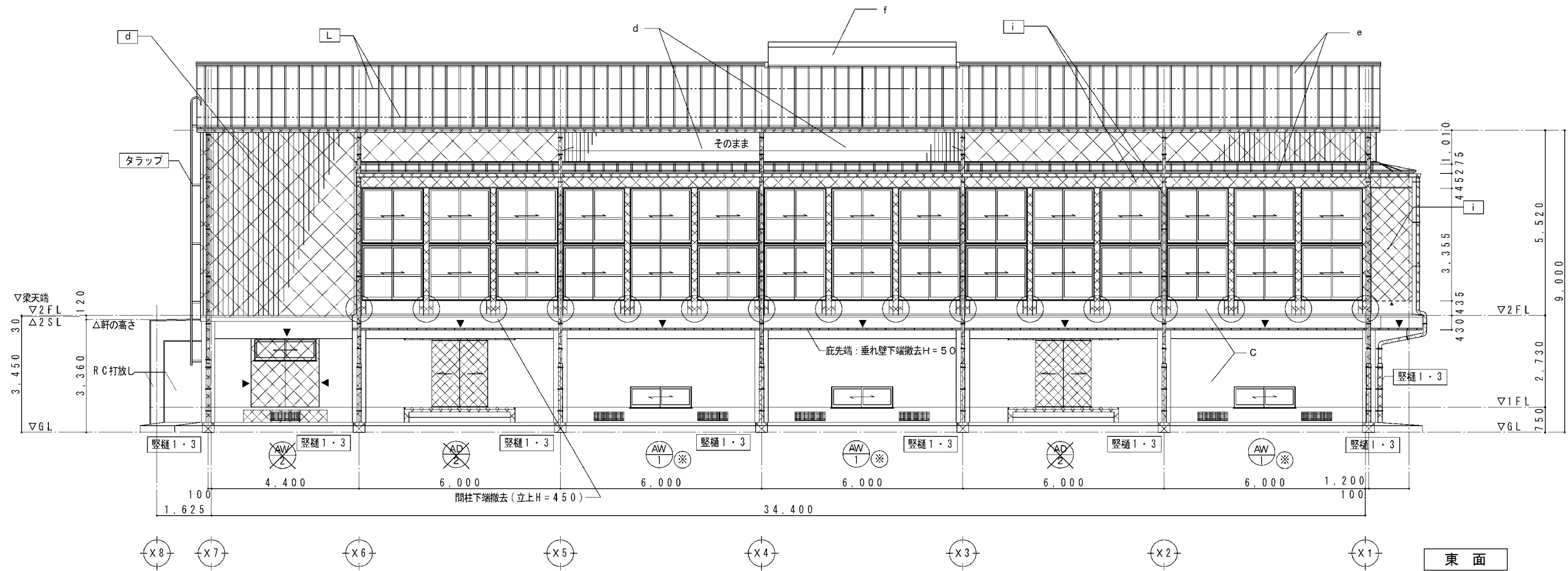
じょうご位置を示す。

L 雪止めアングル位置を示す。

床下換気口：アルミ床下換気ガラリ SUS防虫網付 900×250 新設
金属PL：500×250 DP塗 塗替

d	角波カラー鉄板張り	そのまま
e	カラー鉄板瓦棒葺きt0.5	そのまま
f	既設屋根根顶部ベンチレータ 素地調整の上、DP塗	塗替
j	既設防火サイディング 下地処理の上、防水形複層塗材E塗	塗替
k	カバー工法 カラーSGL鋼板瓦棒葺きt=0.4 ゴムアスルーフィングt=1.0	新設
l	下地調整の上、露出塩ビ系シート防水 M3S工法	新設
n	アルミ笠木W=200及び壁取り合いアルミ押え水切り	新設
m	柱・壁：C1処理の上、防水形複層塗材E塗	塗替
o	底先端：一部モルタル塗り 防水形複層塗材E塗 o2 立上り嵩上コンクリート打放し共	新設
p2	角波カラーSGL鋼板t=0.4張り PBt=15 透湿防水シート	新設
p3	水切り：カラーSGL鋼板t=0.4 S 軽量鉄骨下地新設 既設軽量鉄骨下地そのまま	
q	柱・梁型：カラーSGL鋼板t=0.8張り 下地耐火野地板t=18 透湿防水シート S 軽量鉄骨下地新設	新設
r	モルタル浮き・ひび割れ改修 C1処理の上、防水形複層塗材E塗	塗替
r2	軒天：下地処理の上、外装薄塗材E塗	塗替
s2	立上り部：既設モルタルコテ押え C1処理の上、NAD塗 下端H=100そのまま	塗替
t	ギャラリー：庇・立上り 塗膜防水X-2 t2 立上りコンクリート打放し新設 北面7ヶ所 西面16ヶ所 t 既設モルタル塗コテ押え 一部モルタル塗新設	新設
底先端下端	アルミ下端見切既製品D120・内側アルミアングル共	新設
PL	PL 素地調整の上、DP塗	塗替

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	設計者	(有)福田建築設計事務所 (鳥根県知事)10089 一級建築士(大匠)190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-21	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 立面図(1) 西・北面	1:100	R7.2			
建築							

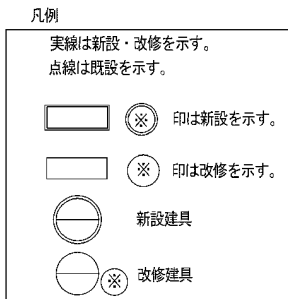
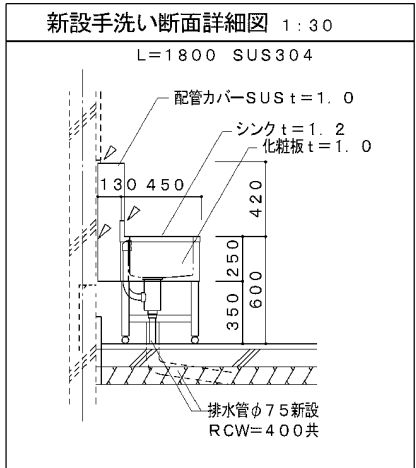


凡例	
	印は撤去を示す。
	印は撤去を示す。
	RCカッター入れを示す。
	撤去建具
	改修建具
	外壁モルタル カッター入れ
	タラップ STKφ42.7×2.4 φ19@300
	軒樋1 塩ビ軒樋150×100受金物共
	縦樋1・2 VPφ100樋み金物共
	縦樋3 GP養生管φ125 L=1800
	じょうご位置を示す。
	雪止めアングル撤去を示す。
c	コンクリート下地モルタル塗りの上にアクリルリシン吹付 モルタル浮き、ひび割れ補修 高圧水洗浄 一部撤去
d	角波カラー鉄板張り 撤去(一部そのまま)
e	カラー鉄板瓦葺きt0.5 そのまま
f	屋根頂部ベンチレータ ケレン
g	アスファルト露出防水(砂付ルーフィング) 撤去
	SUS笠木及び壁取合い水切り 撤去
i	モルタル塗りの上にアクリルリシン吹付 鉄筋下地 撤去
手洗い	人研ぎ
	水栓6箇所 給水配管保温工事 排水管(犬走り内共) 撤去

南 面

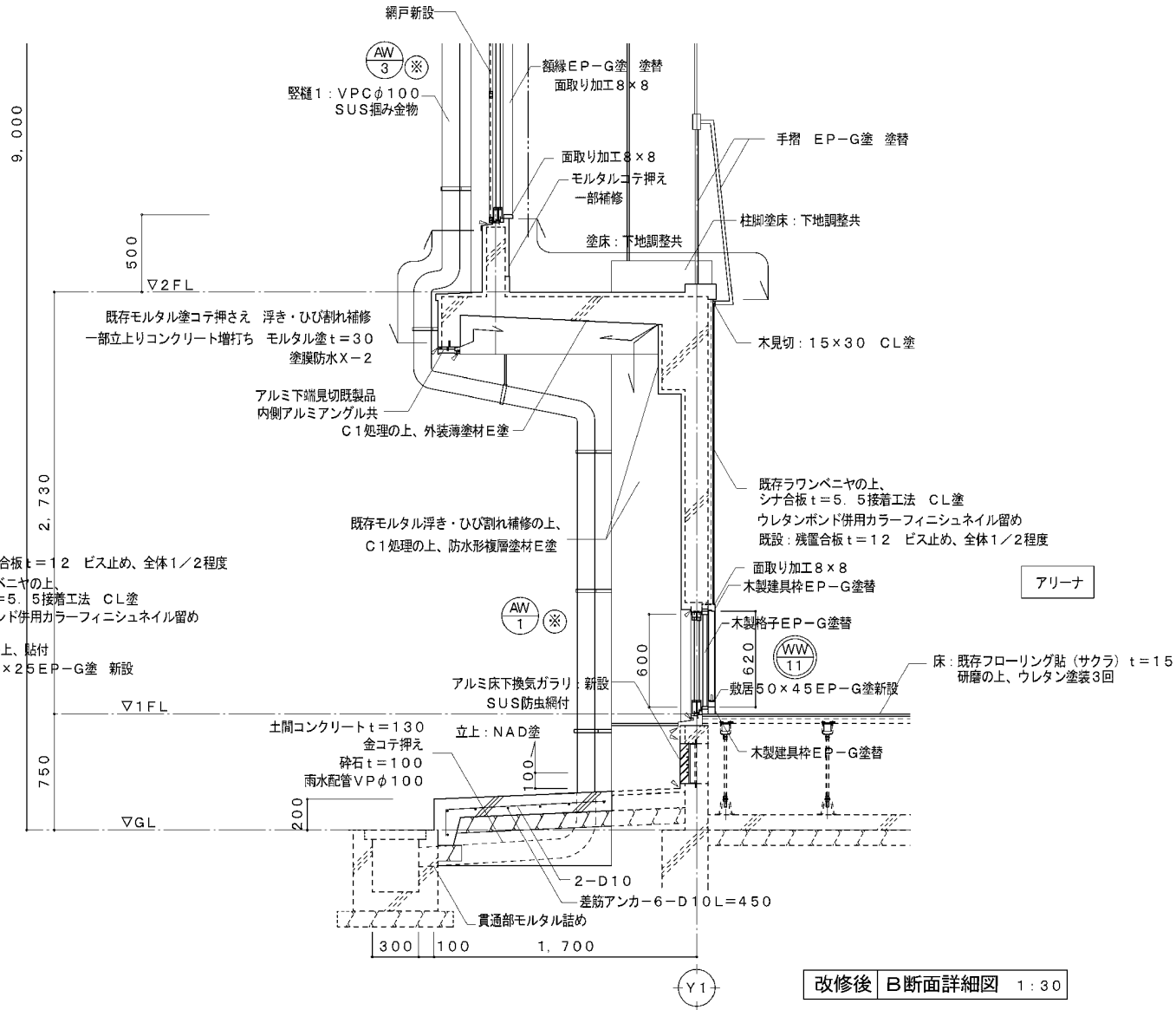
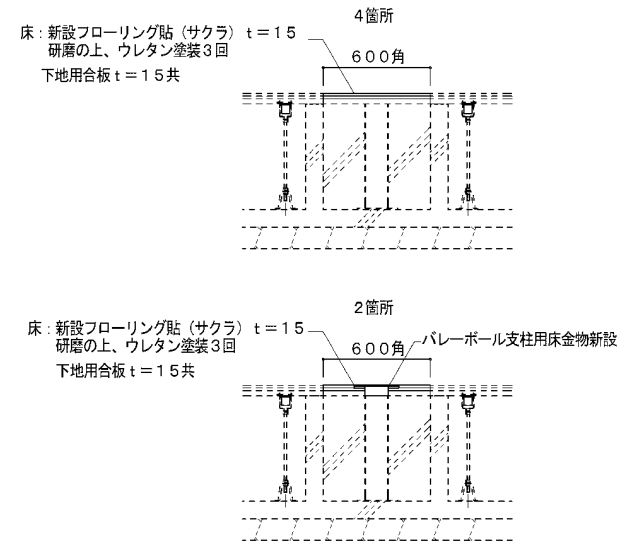
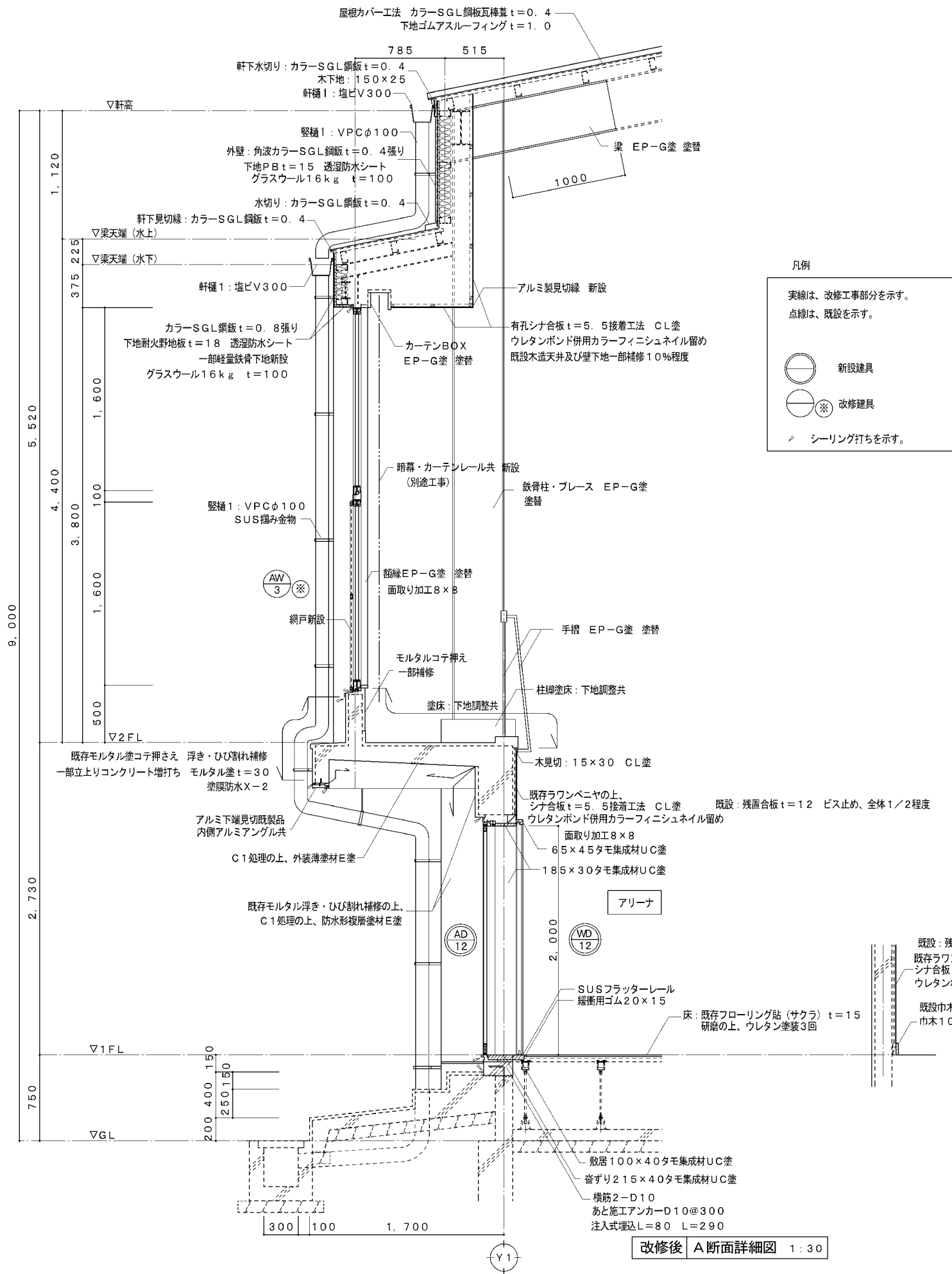
既設 立面図(2) 1:100

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	
A-22	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設 立面図(2) 東・南面	1:100	R7.2	設計者	(株)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089
建築						一級建築士(大匠) 190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3

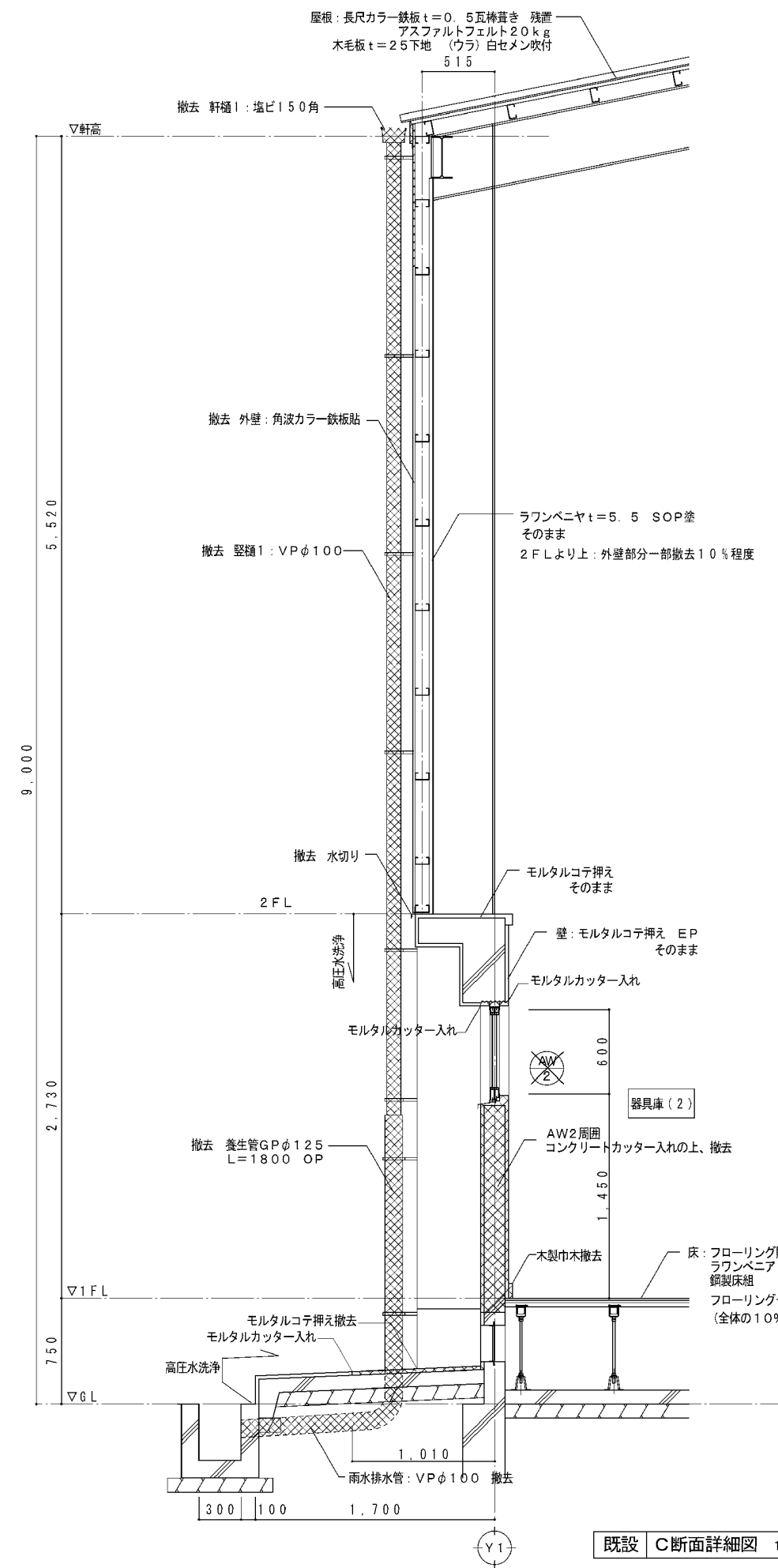


	 塩ビ300SUS受金物共	新設
	 塩ビVPCφ100 SUS掘込み金物・下端カバー共	新設
	▼ じょうご位置を示す。	
	 雪止めアングル位置を示す。	
	 床下換気口：アルミ床下換気ガラリ SUS防虫網付 900×250	新設
d	角波カラー鉄板張り	そのまま
e	カラー鉄板瓦葺き t=0.5	そのまま
f	既存屋根頂部ベンチレータ 素地調整の上、DP塗	塗替
j	既存防火サイディング 下地処理の上、複層塗材E塗	塗替
k	カバー工法 カラーSGL鋼板瓦葺き t=0.4 ゴムアスルーフィング t=1.0	新設
n	アルミ笠木 W=200	新設
m	柱・壁：C1処理の上、複層塗材E塗	塗替
o	パラペット立上：一部樹脂モルタル塗り 防水型複層塗材E塗  立上り嵩上コンクリート打放し共	新設
p2	角波カラーSGL鋼板 t=0.4張り 下地木毛板 t=20 透湿防水シート	新設
p3	水切り：カラーG.L鋼板 t=0.4	 軽量鉄骨下地新設 既設軽量鉄骨下地そのまま
q	カラーSGL鋼板 t=0.8張り 下地木毛板 t=20 透湿防水シート  軽量鉄骨下地新設	新設
r	モルタル浮き・ひび割れ改修 C1処理の上、複層塗材E塗	塗替
r2	軒天：下地処理の上、外装薄塗材E塗	塗替
s2	立上り部：既存モルタルコテ押え C1処理の上、NAD塗	塗替
		下端H=100そのまま
t	ギャラリ：庇・立上り 塗膜防水X-2 →  立上りコンクリート打放し新設 東面16ヶ所  既設モルタル塗コテ押さえ 一部モルタル塗新設  ：アルミ下端見切既製品D120・内側アルミアングル共	新設
手洗い	壁モルタル補修、SUS流し台 L=1800（高さ調整） D=450 水栓6箇所 給水配管保温工事 排水管（犬走り内共）：設備工事	新設
		立上SUS配管カバー共 新設

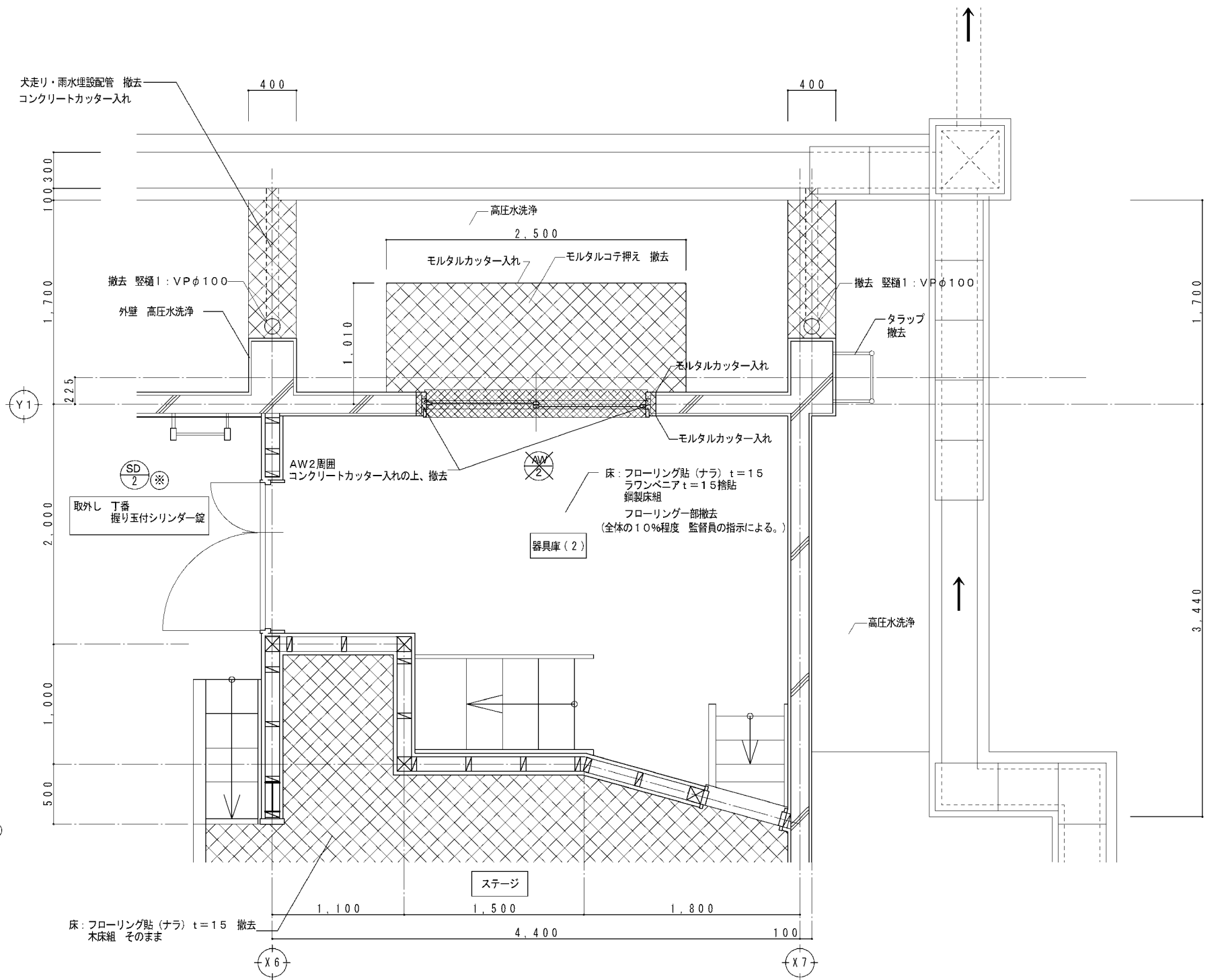
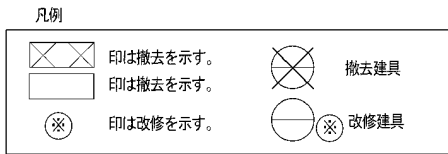
図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設計年月		 出雲市教育委員会 教育施設課		(有)福田建築設計事務所 (島根県知事) 10089
A-23	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 立面図(2) 東・南面	1:100	R7.2		設計者		一級建築士(大臣) 190284 福田 実 島根県出雲市斐川町高村1488番地3
建築								



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	
A-25	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 断面詳細図(1) アリーナ	1:30	R7.2	設計者	(株)福田建築設計事務所 (島根県知事) 10089
建築						一級建築士(大臣) 190284 福田 実 島根県出雲市斐川町富村1488番地3

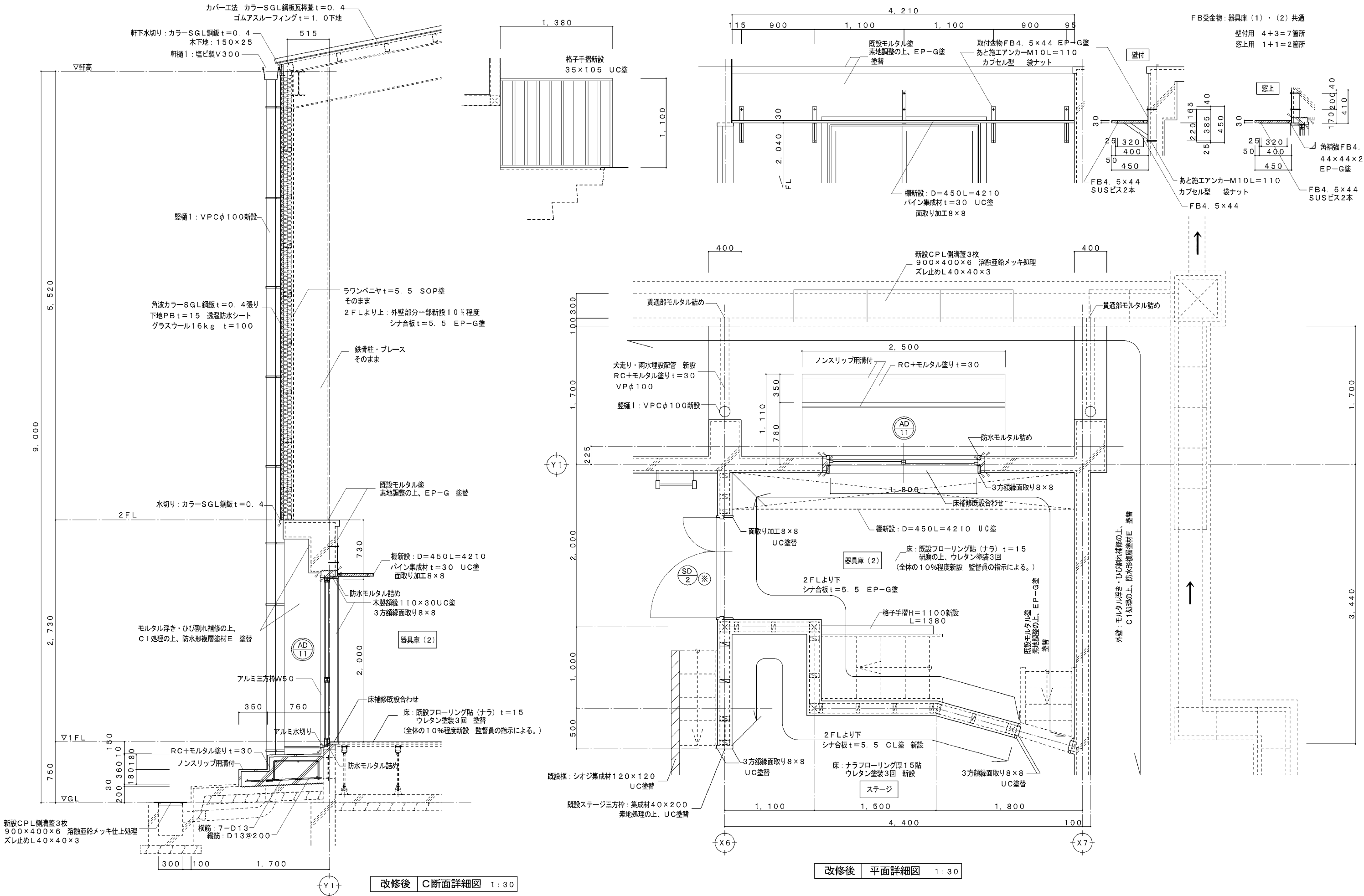


既設 C断面詳細図 1:30

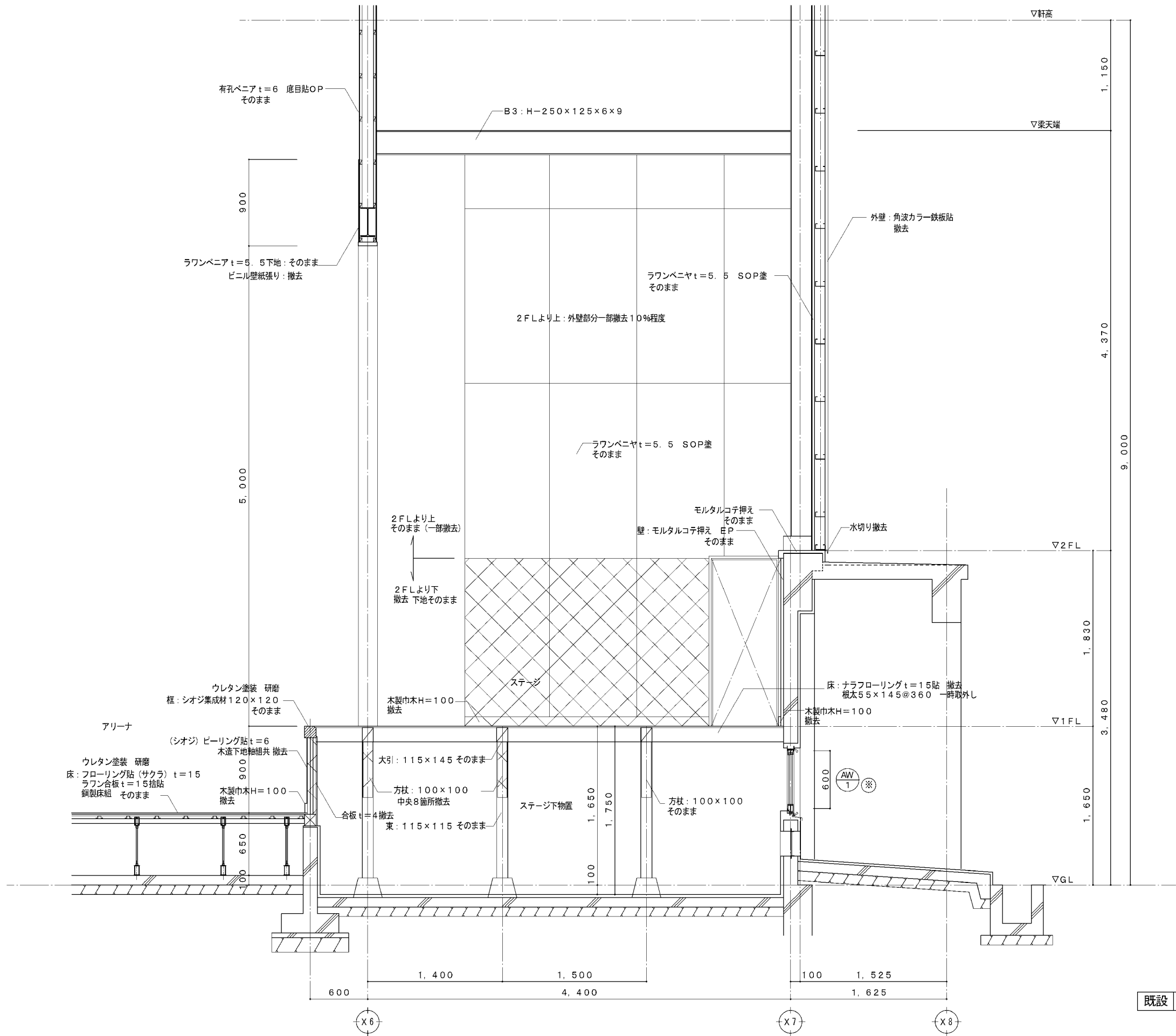


既設 平面詳細図 1:30

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		㈱福田建築設計事務所 (島根県知事) 10089 一級建築士 (大匠) 190284 福田 実 島根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-26	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設 平面・断面詳細図 (2) 器具庫 (2)	1:30	R7.2	設計者		
建築							

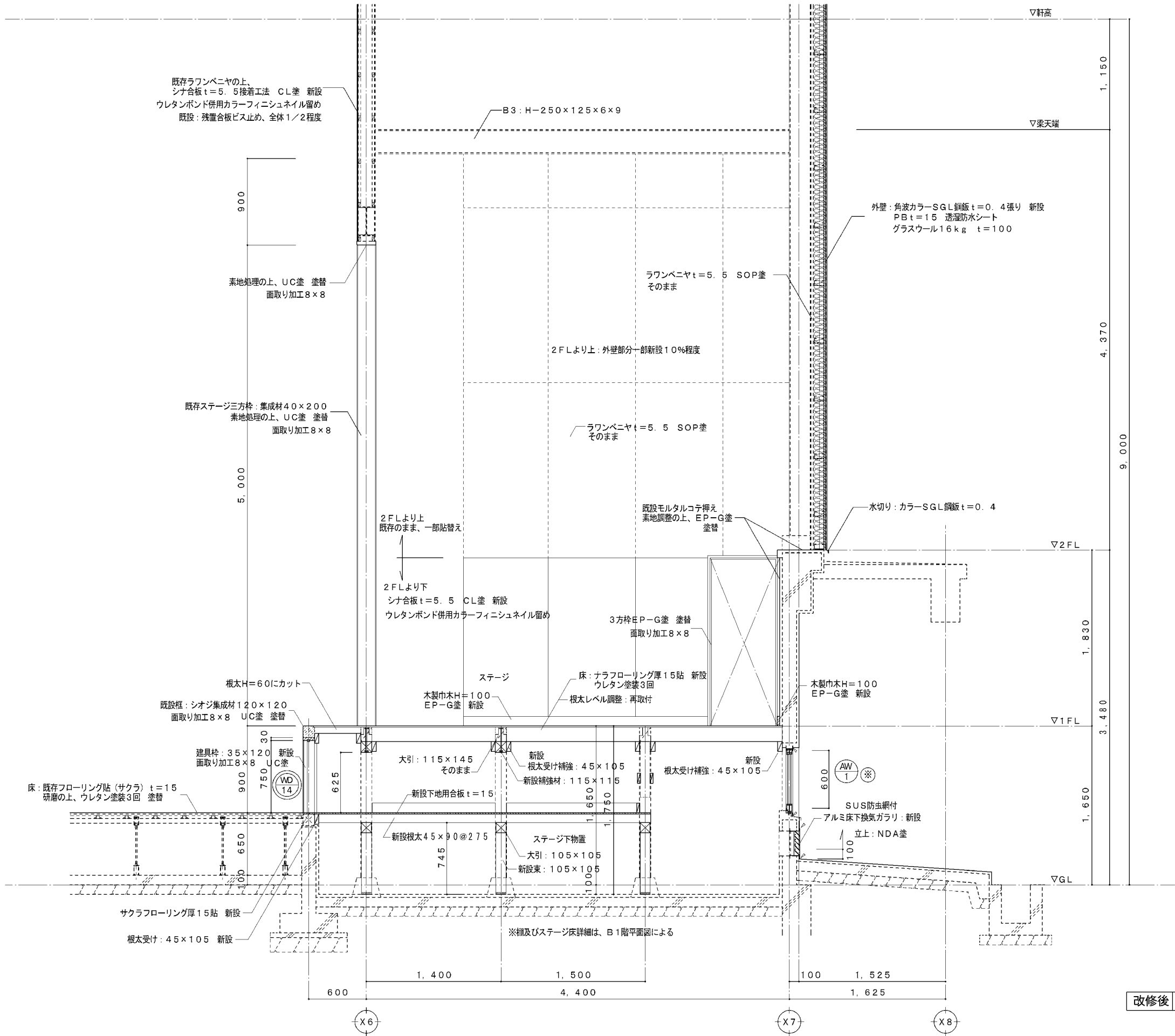


図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大臣）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-27	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 平面・断面詳細図（2） 器具庫（2）	1：30	R7.2	設計者		
建築							



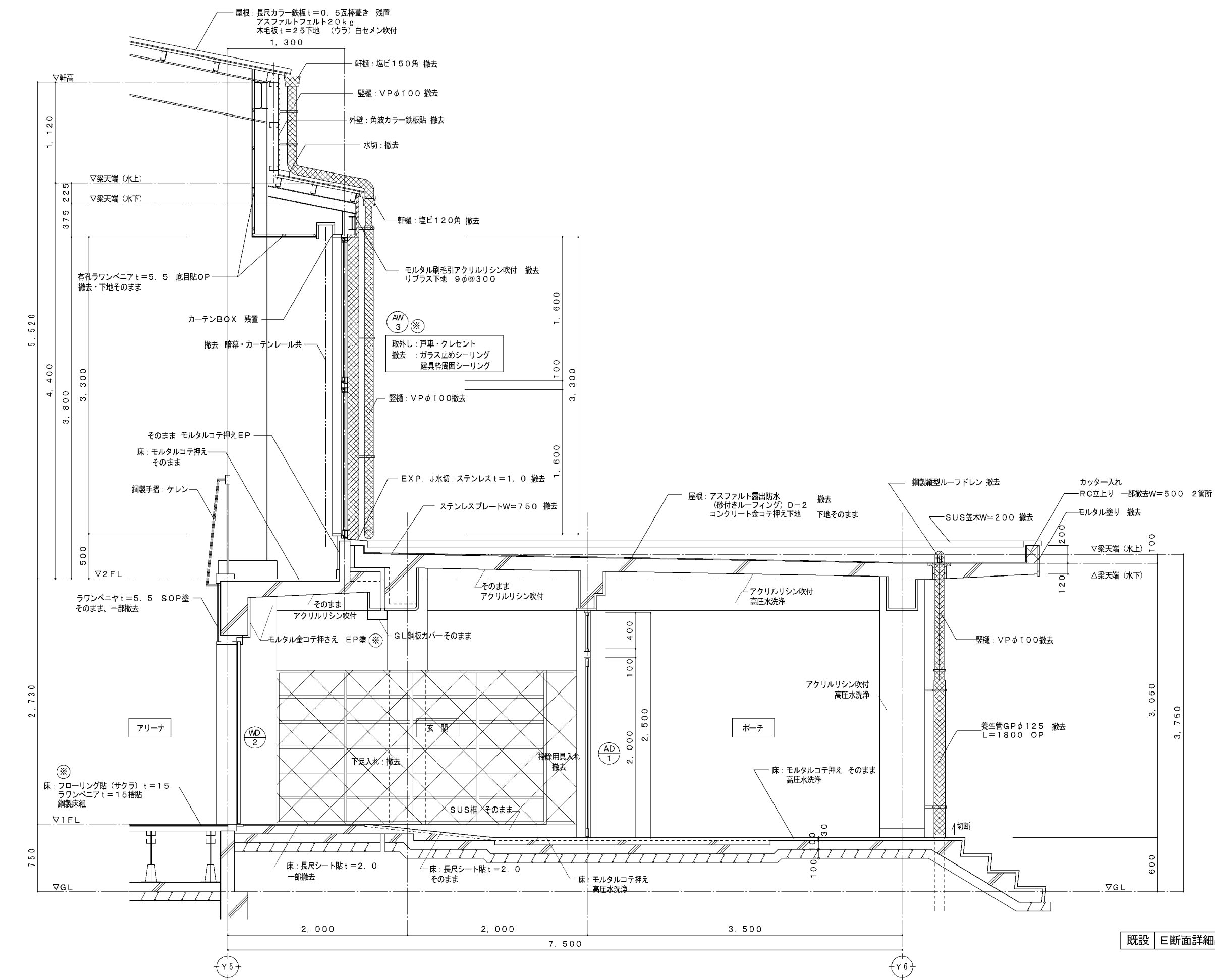
既設 D断面詳細図 1:30

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（島根県知事）10089 一級建築士（大匠）190284 福田 実 島根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-28	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設 断面詳細図（3） ステージ	1:30	R7.2	設計者		
建築							

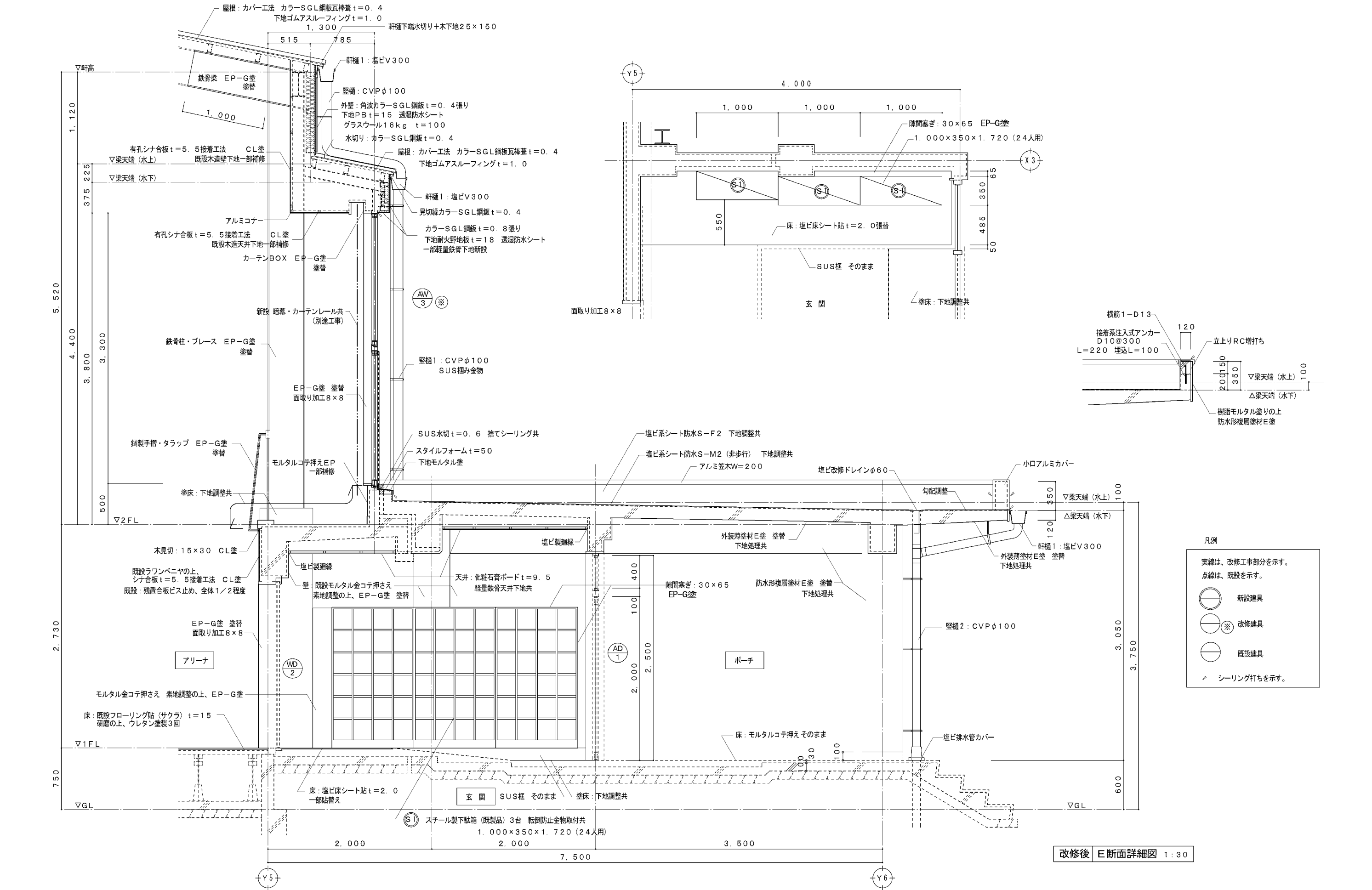


改修後 D断面詳細図 1:30

図 面 番 号		工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 年 月	 出雲市教育委員会 教育施設課		（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大匠）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-29		出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 断面詳細図（3） ステージ ステージ下物置	1：30	R7. 2	設 計 者		
建築								



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	設計者	(株)福田建築設計事務所 (鳥根県知事) 10089 一級建築士(大匠) 190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-30	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	既設 断面詳細図(4) 玄関	1:30	R7.2			
建築							



図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計年月	出雲市教育委員会 教育施設課	（有）福田建築設計事務所（鳥根県知事）10089 一級建築士（大匠）190284 福田 実 鳥根県出雲市斐川町富村1488番地3
A-31	出東小学校屋内運動場大規模改修建築工事	改修後 断面詳細図（4） 玄関	1:30	R7.2		
建築						